
悪者たちのぶつくさ 2 色々編

imaiwa

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悪者たちのぶつくわ2 色々編

【Zコード】

N5137E

【作者名】

imaiwa

【あらすじ】

勇者や魔王、魔物いろんな立場の人たちの気持ちを代弁します。色々なシチュエーションを再現してみます。

第1話 勇者A編 ねづ等ひだりよー（前書き）

少し考え方違っていたようですね。
取り合えず今書いてるものをよりよくするため、完成度を高める努力をします。
ご迷惑お掛けしました。

第1話 勇者A編 お前等ひでよー。

ある勇者一行の話編

魔物A 腹へつたなあ・・・

魔物B おい、うまそな人間が3人歩いてるぜ

魔物C くつちやお、くつちやおー！

勇者A ああ、疲れた・・道迷つた・・腹減つたし・アンノ村はどうちだ？

魔法使い しるかよ、おめー勇者だら、地図で調べろや、タコが・・
僧侶 こりゃ、魔法使い！勇者になんつひ言こ草じや

魔法使い だつてさ・・・いいつつも先頭でいくから

魔法使い それについていつたらこのザマだ

魔法使い 腹の虫がおさまらねーよ

魔法使い この方向うんちが！

勇者 ひでー、お前言いすぎだよ

勇者 焼きいれるよ・・?

魔法使い なんだと、開き直りやがつて

魔法使いは呪文をとなえた。

魔法使い ファイアボール

勇者A 勇者はダメージを受けた。

勇者A いてえ、なにすんだおめー、マジコロス

勇者A 勇者は鉄の剣を抜いた。

僧侶 こりや、いい加減にせんか・・

勇者一行は仲間割れをしている。

魔物ABCが現れた

勇者A む、魔物だ、やべーなんか見たことねーぞ

勇者A こいつらひょつとして、強かつたりして・・

勇者A ケンカしてる場合じゃねー

勇者A しかしやな時に出でぐるな、

勇者A 俺さつきのファイアボールでやばいのに・・

魔法使い しつたことか〜こつちやムシャクシャしてんだ

魔法使い くらえー

魔法使いは全体魔法を唱えた。

魔法使い ファイアストーム
炎がほとばしる

しかし魔物ABCは平氣な顔をしている。

魔物A へへへそんなもんきくか

魔物B 僕たちや炎属性だぞ

魔物C うへへ、たべちゃお、たべちゃお

勇者A く、炎全然きいてねーじやん、だせ・・・

魔法使い うつさいな、おめーもはたらけ

僧侶 仕方ないな、ワシの・・あれ攻撃魔法ないわ・・

僧侶 まだ↓ヽ低いからな・・俺ずっと馬車で寝てたし

僧侶 とりあえず・・防御だけアップしとくな

僧侶は魔法を唱えた。

僧侶 カテキン！

勇者Aは固くなつた。

魔法使いも固くなつた。
僧侶も固くなつた。

魔物Aの攻撃

僧侶 ぐええええ

僧侶は息絶えた。

勇者A 僧侶・・カテキンの意味がねえ・・・トロすくなすぎるん
だよ・・

勇者A やべーーのままでは全滅する・・

勇者A 魔法使いじづす・・
魔法使いは逃げていつた。

勇者A ちよ・・・おま・・・待てよ・・ひで・・

勇者A くそ、あんなやついれるんじやなかつた・・ビリシよ・・

勇者A そだ!馬車だ、おーいみんな!

勇者Aは仲間を呼んだ。

勇者A あれ・・・出てこね・・

勇者A ん? 何だこの手紙は・・?

勇者Aは手紙を読んだ。

勇者Aへ

あんた最高だよ、あんたについていったおかげで

結構しゃも上がったし、金もたまつた。

もう一緒に旅する必要ねーんで、この金で道具屋でも開いて
女と幸せに暮らします。

探さないでください。 アディオ

b y 武道家

勇者A ぶ・・武道家・・くそおお・・絶対生き残つて・・店に火
つけてやる・・

勇者A もうやぶれかぶれだ・・

勇者A いくぞ！

勇者の攻撃

魔物Aはダメージを受けていない。

魔物Aの攻撃

勇者はダメージを受けた。
勇者は瀕死だ。

勇者A ・・・

勇者A いよいよ俺も最後か・・・

勇者A ん・・・？ポケットになにか・・・これは・・・にわとりの翼・・・

勇者A ふ・・・神は我を見放されてはいなかつたか・

魔物A B C 死ね

勇者A そはいくか！にわとりの翼を使つた。

勇者は町に移動した。

勇者A 何とか逃げ切つたか・・・

勇者A た・・・す・・か・・つた・・・バタッ

勇者Aは氣絶した。

勇者A んぐくそ、魔法使いめ、裏切り者め、武道家・・しなす・・

勇者A 勇者は悪夢にうなされていた。

村女A 勇者様！大丈夫ですか？目を覚まして。

勇者A うう・・あ・・ん？ここはどこだ・・？

村女A ここはキル村にある病院です。

村女A わたしが道端に倒れてるあなたを見つけてここに運びました。

勇者A ・・・すまぬ・・・礼をいつぞ、女

村女A 礼なんていらないですわ

村女A 勇者様無事でよかつた・・

村女A 包帯を取り替えましょ'うね。

勇者A ・・・すまぬ

勇者A (この娘かわいいな・・名前なんて言ひんだら・・)

TO

B
e
C
o
n
t
i
n
u
e

第2話 勇者A編 魔物は俺の仲間！

勇者Aはあの病院で助けてくれた村女A=リンと結婚した。
勇者Aはリンと貧乏ながらも幸福な生活を送っていた。

勇者A ははは、それでそれで？

リン だから・・私言つてやつたのよ、武器屋の親父に

リン 「ほつたぐり！」ってね

勇者A そりゃオヤジ驚いただろ？

勇者A せひと・・そろそろ出勤・・いや、魔物倒してくるよ。

リン そりゃ、そろそろお金もつきかけてるし・

勇者A うむ、魔物から巻き上げてくる、宝石でも持つてたらお前にやるよ

リン 嬉しいー！勇者A頑張つてね

勇者A 任せとけ！

リン いってらっしゃーー

勇者は野に出た。

勇者A ふう結婚生活も大変だな

勇者A 金かかるな

勇者A まあいつか、魔物さえいれば、食う分は困らないか

ゲロイムABCDEが現れた。

ゲロイムABCDE達は怯えている。

勇者A わりいな、俺今、お前等にしか勝てねーんだ、しんぐれ。

勇者A 勇者は特殊技を使った。

勇者A カマイタチ！

疾風がゲロイムを襲う。

ゲロイムABCDEは全滅した。

ゲロイムを倒した。経験値5ポイント、5キルと薬草を巻き上げた。

勇者A またつまらんものを斬つてしまつた・・

勇者A ・たわいもない・・

勇者A しかし、相変わらず金もってねーなーゲロイムの奴

勇者A まあ弱いしな・・おかげで数出できても倒せるけどな・・

勇者A もうちょっと、金持つて奴倒したいが

勇者A はあ・・しかし一人つて限界あるよな・・

勇者A しかし、人は信じられねえ・・組むのは「めんだ・・

勇者A チマチマ、ゲロイム倒して「↑↑上げて、強くなるしかない
な・

夜になつた。

勇者A はあはあ・・疲れた・・体中ゲロまみれだ・

勇者A こんなけ働いて、1000キルか・・割にあわね～よな・・

勇者A 家帰つて風呂でもはいろ・

ゲロイムGが現れた。

勇者A あん?

勇者A もういいつて・・疲れたわ・

ゲロイムの攻撃

勇者Aはかわした。

ゲロイムの攻撃

勇者Aはかわした

ゲロイムの攻撃

勇者Aはかわした

勇者Aは身を守つてゐる。

ゲロイムの攻撃

勇者Aはかわした

ゲロイムの攻撃

勇者Aはかわした

勇者A こいつ結構根性あるな・・

勇者A ゲロイムって弱虫ばっかなのに

勇者A しかし無理なもんは無理だつて

ゲロイムの攻撃

勇者Aはかわした

ゲロイムの攻撃

勇者Aはかわした

勇者A こいつ・・・

勇者A 勇者の攻撃

ゲロイムGは倒れた。

勇者A ふーひつこかつた・

勇者A 良く頑張ったけど、俺に勝つのは10年はええ

勇者A さてと、お金を巻き上げてつと・

勇者はゲロイムの小さなバッグを漁つてこる。

ゲロイムG プルプル

勇者A まだ生きてたか・

勇者A 取りあえず取るもの取つたし、家かえろ

勇者A うん?

ゲロイムが起き上^アがると

仲間に^アなりたそ^アに勇者Aをみつめ^アてい^アる。

勇者A なんだ・・俺に付いてくるつてか・?

勇者A (こいつ弱いしな・・)

勇者A (まあ・・一人も大変だし、金重いから、荷物運びに連れ
て行くか・・)

勇者A よし、仲間に^アしてやる。

ゲロイムGは仲間に^アつた。

勇者A さあ、俺のパーティに入つたからには働いてもらひ^アい!

ゲロイムG プルプル

勇者A 家帰るか・・リンなんて言つかな・・

勇者A は帰^アました。

勇者A ただいま

リン おかえりなさい

リン どうだつた?

勇者A 儲かつた! とは言つてくれば・とつあえず1000キル手入れたよ

リン 「若様ーお風呂にします?

勇者A そだな、その前にリンに見せたいものが・・

リン ?

勇者A おい、でてこ

ゲロイムG プルプル

リン 「どうしたの?」の子

勇者A 仲間になりたそうにしてたので、拾つてきた

リン そなんだ

勇者A あの・・うちに飼つてもいいかな?

勇者A ベトベトしてるが、荷物運びくればなりそなんだ

リン いいわよ、その代わり、外の馬小屋になるけどいい?

リン わすがに中では・・

勇者A うん、ベトベトしてぬし、なにやら四つしな。

リン とりあえず名前つけてあげないとね

勇者A ハーん・・ゲロ版、ゲロ太郎、お好み焼き、ローション、
ゼリー

アメバ、単細胞、どれにする?

リン どれもいや〜〜

リン そうね〜・・プルプルいつからプルちゃんで!・

勇者A そのまんまやんけ・・

リン プルちゃんよろしくね!

プル プルプル

夜が明けた。

勇者A よし!出かけるぞ、プル!〜!

プルプル プルプル!

リン いつてらっしゃーい!

勇者A とプルは野にくりだした

勇者A さてと、プル、おめーは荷物運びじゃ

勇者A 俺がぶつ殺した魔物から金品巻き上げて、馬車に積むまでが
おめーの仕事だ

勇者A それまで馬車からでてくんnyaよ、てめー弱いんだから

プル プルプル

勇者A ほんとに分かつてんのかな・

ゲロイムFGRHPが現れた

勇者A 勇者の攻撃

勇者A おいらおいらおいらー

勇者A アターー！アターー！

ゲロイムFGRHPは全滅した。

勇者A よし、ほら積め、プル吉

プル プルブル

プルはゲロイムたちの死体を見た。

プル プ・・ルププ（ご・・ごめんよ、みんな・・）

プル プ・・ルププ（ご・・ごめんよ、みんな・・）

プル ププププルル（俺はあの人についていくと決めたんだ・・・）

勇者A おらー、ちんたらやつてんじやねー！

プル プルプル

プルは泣きながら、ゲロイム達の屍から小さいカバンをまきあげた。

勇者A はー疲れた・・夜も更けたし、金もたまつたし、帰るかな・

・

勇者A しかし遅くまでやつてたな・

勇者A プルのおかげで仕事がはかどったな、プルGJ！

プル プルプル

プル プ・・・

グリ熊が現れた。

勇者A うえ・・こいつ・かなりつえー奴じやん・・

勇者A やべー・・どないしょ・・

グリ熊の攻撃

勇者A 勇者はダメージを受けた。

勇者A ぐわ・・・いてえ・・いてえよー！

勇者A このやうへ

勇者Aの攻撃

グリ熊はかわした。

勇者A クソ・・・絶体絶命だ・・・

勇者A リン・・・帰れないかも・・・リン・・・

その頃

リン アハハハ♪おめーがバカだつて！

リンはTVのバラエティー番組に突っ込みを入れていた。

To Be Continue

第3話 勇者A編 過去との決別

勇者A く・・・・・

勇者A とてもかなわねーぞ・・・ハアハア・・・

グリ熊 ガウガウ（とどめだー）

プル プルプル～～～！！（待て！）

プルが馬車から飛び出した・

勇者A お前・・何を・・

勇者A やめとけ・とてもお前のかなう相手じやねえ・・・

グリ熊 ガウガウ（なんだおまえは・・？）

グリ熊 ガウガウ（魔物の癖に人間に味方すんのか？てめー）

プル プルプルププ（うるせーデブ、かかつてこい！）

グリ熊 しねやー！

グリ熊の攻撃
プルはかわした。

プル ププブル（当たれば即死する！） ププルプ（交わすんだ・・・

）

グリ熊の攻撃
プルはかわした。

グリ熊 ガウガウ（なんだとー？）ガグガガウ（こんな奴に・・・）

勇者A プル・・お前・・なんでそんなにすばやいのに俺に・・・

勇者は驚いた様子でプルを見ている。

プル プププル（俺は勇者Aに一撃で倒されたけど）

プル プププ（あの時は腹壊してて動きが鈍かつた・・）

プル プププブル（でもスピードはゲロイムーなんだぜ！）

プルはピヨンピヨン跳ね回りかく乱する。

グリ熊 ガウガアア（あたらねえ・・・）

勇者A 今のうちに・・・にげ・・

勇者Aは苦い記憶が頭をよぎった。

勇者A く・・これじゃ・・俺も・

勇者A 僮も・・俺を置いて逃げた魔法使いや武道家と同じじゃね
ーか！－

勇者A 考えるんだ・・何かあるはず・

勇者A プルももう限界が近い・・なんとかしないと・・なんかないか・・

勇者はカバンを“じそ”じそし始めた。

勇者A これは・・毒針・・急所をつけば相手を一撃で殺れる武器・

勇者A 確か、えーと、グリ熊の弱点は右耳の裏側だ！

勇者A ここの隙に奴の後ろに回るぞ！

プル プププル・・（もう限界だ・・）

プルの動きが止まつた。

グリ熊 ガガガガガア（まあおめーにしちゃ頑張つた方だな、だがこれでおしまいだ！）

勇者の背後からの一撃

プス～！

グリ熊は即死した。

1000ポイントの経験値と1000キルのお金、じついブーメランを手に入れた。

勇者は1vが10になつた。
ライトニングの魔法を覚えた。
ステータスが上がつた。

プルは1ヽが8になつた。

ヒーリングを覚えた。

特技 火炎放射を覚えた。

ステータスが上がつた。

プル プププル～（勇者A・・・）

勇者A お前すゞいな・見直したよ・

プル プルプル（俺、あんた逃げると思つてた・・・）

プル プルプル（それでもいいつて・・本望だつて・・・）

プル プルプル（でも・あんたは逃げなかつた・・・）

勇者A 何言つてゐのかわかねーけど、助かつてよかつた。

プル ププル～（あんた最高だよ～！）

プルは勇者に抱きつこうと飛び掛かる。

勇者はひらりと避けた。

プルは地面に激突した。

勇者A 何の真似だよ・・服がベとつぐだろ・・

勇者A とりあえず熊から巻き上げて、ちやつちやと馬車に積めよ・

プル ププブル・・・プ～・・・（せつかくの感動を・・）の守銭
奴め・・ふ～・）

プル プププ (まあ・・・いつか・助けてくれたのは事実だ・・・)

勇者A ほひ〜 おうちに帰んべ

勇者Aは馬車を全速力で走らせた。

プル プルル〜・・・ (ま・・・待てや・・コルア〜・・・)

T

o B e C o n t i n u e

第4話 勇者A編 新しい仲間！

リン はい～フルちゃんエサよ～

リンは牛一頭をフルに『えた。

フル プルフル～（ありがとー！おいしい）

フル ボキ！グキ！グチャグチャ！ゲロゲロ～ゴクン

リン いつ見ても豪快ね・・（いつみてもキッモイ・・）

リン さてと、お洗濯しなきゃ

勇者Aは日曜日なので、家で『ロロ』ロロしていた。

勇者A は～暇だな～・なにすつかな～・・

勇者A ピンポンダッショでもしにい～うかな・・

勇者A ・・・

勇者A そうだ・

勇者A 久しぶりに隣町にでも遊びに行くか。

勇者A おい～リン！

リン な～に？勇者A

勇者A あのな~今から隣町へ遊びに行こうかと思つんだけど

勇者A こないか?

リン ん~

リン いく?

勇者A おうよ

リン プルちゃんどうする?

勇者A 置いてこ

勇者A 幸せそうに寝てるし、つれでくと村人が嫌な顔するしさ

リン じゃあ一人でいこつか!

勇者A よし!

二人は村をでた

リン 大丈夫かな?魔物たち襲つてくるんでしょ?

勇者A 平氣平氣

ゲロイムXJPKが現れた

ゲロイムは勇者を見ると素通りした。

リン あら、襲つてこないわ・

勇者A ははは、あいつ等やべさんぶちのめしたからな～

勇者A すぐ逃げていつちまつ、まあ俺の努力の賜物だね、@@@@
アハーハハ！！@@@

リン (どんだけ酷い皿にあつてるんだら・・)

リン (责任感じるわ・・)

リンは遠い田をしている。

勇者A よじパン♪村見えてきたわ

リン いろいろ買ひ物しちゃお

勇者A いろいろ・・？

リン うん

リン 綺麗な服とか、靴とか、宝石とか、新しい食器棚とか・・ e
t c

勇者A おいおい、そんなに金ねーぞ・・

リン 分かつてゐわよ、これでも主婦よ！

勇者A ほつ・

勇者Aとリンはパンノ村に着いた。

勇者A 結構賑わってるな

宝石屋A そのおねーさん! 良い宝石あるよ! みていいかないか?

リン 宝石〜〜! ? どれどれ見せて〜〜

リン これいい! いくら?

宝石屋A 500000キルだ、でもおねーさん綺麗だから49800キルにまけるよ!

リン 買つた!

勇者Aは不思議な踊りを踊った。

勇者A ちょっとまでよ! そんなん買つたら明日から! 飯梅干だぞ?

リン 大丈夫! プルちゃんの『飯を一ヶ月くらいぬくから!

リン だって、魔物だもん、1ヶ月くらい大丈夫だよね

勇者A ひで〜〜おま〜〜あいつだって生きてるんだぜ!

リン うう〜〜じゃあ返す〜〜

リンは宝石を返した。

勇者A (女つて怖い〜〜)

勇者は少し怯えている。

勇者A お、屋台でてるや

リン いこいー。

露天商A さあみていつてもかわいいペット売つてるよー！

露天商A ほら、大ムカデみてみて、足がとてもキュートー！

リン わーかわいい！

勇者A ・・・・・・

勇者A (リンって結構悪趣味だよな・・・)

リン おじさん、この子は？

露天商A お、おねーさんお皿が高いー！

露天商A そいつあ、なんとーあのゲームの子供だよー！

リン おお！

露天商A 育つとかなり強い奴になるよー！しかも人間語もしゃべれる！

勇者A ほお・・

勇者A いくら？

露天商A 100000キルのところを、なんと！出血大サービス！500キルで売るよ～！

リン 安い！買った！

露天商A おお

勇者A ちょっとまで…何でそんなに安いんだ…？

露天商A ギク・

露天商Aは額に大量の汗をかいている。

露天商A ベ…別に…た…ただちょっと…きかん坊なところってね…

露天商A 人間のゆうこと一切聞かないだけだよ…ただそれだけ！

勇者A おいおい

リン まあ…なにか昔嫌なことあつたのかしら…ぐれてるのね…

勇者Aは少し考えていた。

勇者A (500キルか…ゴーレム…強いよな…)

勇者A (多少ぐれても・・・俺の愛にかかれば・・・)

勇者A よし、オヤジそれ買った。

露天商A わお、さすが勇者A、お田が高い、やつとやつかい・
いや・

いい飼い主見つかって、よかつたよかつた!

勇者A 良い買い物した~アーハハ!@@

リン うふふ

櫻の中の『一』の目がキラリと光った。

To Be Continue

第5話 勇者A編 「ゴーレムvs勇者A！」

勇者Aとリンは帰宅した。

リン は～楽しかった！

勇者A うんうん、いい買い物したしな

リン うん

勇者A じゃあ、先家に入つといて、リン

勇者A 僕、外に置いてある馬車から「ゴーレムの入つてる檻降りしどくから

リン 分かった、じゃタゞ飯の支度するね！

勇者A たのむわ

リンは家に入った。

勇者A さてと・降ろすか

勇者A うんしょ、うんしょ、 薙重いな・・

勇者A ゴーレムだもんな・・並で出来てるしな

勇者Aはゴーレムの檻を馬車から降ろした。

勇者A ょし、ゴーレム鍵開けるわな

ゴーレム ・・・・

力チャヤ！

檻の鍵が開いた。

勇者A わあでておいでーーー！が今日からおぬーの「ひだり」

ゴーレムは檻からゆりくつ出した。

ゴーレム ・・・・

勇者A ゴーレム、今日からお前の主人は俺だ

勇者A 俺のゆうじとかやんと聞へよ！

ゴーレム ・・・・

勇者A なんか言えよ

ゴーレム ・・・・

ゴーレムは空を見ていた。

勇者A （確かに、ちよつと扱いにくそだな・・・500キルだし・

・・）

勇者A （この手の奴は、教育が必要だな・・俺の恐怖を叩き込んでおかないと・・）

勇者A
(舐められたら、負けだ・・)

勇者は気合を入れた

勇者A こら！挨拶せんかい！

ゴーレムは勇者Aをみた。

ヨーレム おはようございます、ご主人様

勇者A 二む それでいしんじせ

勇者A なうんだ 気合入れて撮した

「コレ」の目だきニシンと光るた

二 いの背後からの不意打ち

卷之三

標記アカウントのダメージ!!

ゴーレムの流れよつな連続攻撃

勇者に50のダメージ！

勇者Aは地面に倒れた。

「ゴーレムは勇者の頭を足で踏んだ。

ゴーレム　・・・フ・油断したな・・誰がお前なんかの奴隸になるか
よ・・

勇者A　「・・・」
勇者A　すげえ卑怯な上につええ・・・

勇者A　すげえ卑怯な上につええ・・・

勇者はゴーレムの足を払うと立ち上がった。
勇者は笑っている。

ゴーレム　!?

勇者A　ふふ・ふふふ・

勇者A　おめ一氣に入つたよ・・

ゴーレム　なに笑つてやがんだ!

勇者A　おめ一みたいな頭が回つて卑怯でつええ奴、探してたんだ
よな・・

勇者A　だけど、俺はおめーのマスターだ、ちよつとその事教え
とくかな・

勇者はスラリと剣を抜いた。

ゴーレム　おまえ、俺とやる気か?まだやられ足りないよつだな・・

ゴーレムの攻撃

勇者はひらりと避けた。

勇者A さてと・・本気ですか・・一ヤリ・

勇者は不気味に微笑んだ。

ゴーレム 何だこいつの余裕は・・

ゴーレムは少し恐れている。

勇者Aの攻撃

勇者A くわえ！

勇者は地面の土を握るとゴーレムの田に投げつけた。

ゴーレム ぐわあ・・田が・・田がああ・・

勇者の連続攻撃

勇者A スライディング！

ゴーレムはこかされた。

勇者はゴーレムに飛び乗り、体を足で踏むと喉に剣を突きつけた。

ゴーレム (なんて卑怯な奴だ・・)

勇者A 終りだ・・

「ゴーレム くつ・

勇者A 服従か死か・・どちらか選べ・・

勇者はマジな田をしつこる。

「ゴーレム (やばい・・・・・断れば・・ヤラレル・・)

ゴーレム (・・・・) こいつの田は・・地獄を見てきた田だ・・只者
じゃねえ・・)

ゴーレム ・・・

「ゴーレム ・・・俺の完敗だ・・好きにしな・・・

勇者A よし！分かったようだな、今日からお前は俺の仲間だ！

ゴーレム 仲間・？

勇者A そうだ仲間だ

ゴーレム 仲間か・・

勇者A よつしや家に入ろう・・お前もい・・

ゴーレム オク、マスター・

ゴーレムは仲間になつた。

T
o
B
e
C
o
n
t
i
n
u
e

第6話 勇者A編 嫉妬！

勇者A おし、ゴーレム、俺の嫁に挨拶しろ

リン はじめまして、ゴーレムちゃん！

ゴーレム ・・・

ゴーレム はじめまして・・

リン リンよ、よひしきね！

ゴーレム ょうじく・・

ゴーレム (マスターの嫁さん綺麗だな・・)

ゴーレム ・・・

勇者A セーでここつこも名前考えないとなー

リン そうね！

勇者A ゴレムス、ゴーレム、巨男、タイタン、不意打ち^{28号}
ムースカ、タカシ、帝王、闇金、虚心兵

勇者A どれがいい？

ゴーレム ・・・

リン うーん、悩むね

ゴーレム 僕・・・

ゴーレム 名前あります・

勇者A そうなのか?

リン なんていうの?

ゴーレム タケシ・・

勇者A おお・・いい名前だ。

リン タケシちゃんね

勇者A よしタケシ、お前の仲間フル吉にもあわしどうつな。

勇者A リン、ちょっとこいつにフル君と対面させてくるわ

リン はい

勇者A とゴーレムは馬小屋へ向かった。

勇者A プル、いるか?

フル プルプル~(へい)

勇者A 新しい仲間つれてきたぞ

勇者A タケシだ、よろしくな

タケシ よろしく、先輩・・

プル プルプル・・（よろしく・・）

プル （なんて怖そうな奴なんだ・・）

プル （いじめられそう・・）

プル （くつ・・氣負けするな・・最初が肝心だ・・）

プル （俺の生き場所はここしかないんだ・・）

プルはなにやら、いきり立っていた。

タケシ （フ・・・マスターの下についたが・・）

タケシ （マスター以外に偉そうにされるのはごめんだ・・）

タケシ （とりあえず、こいつは後でシメておくか・・）

勇者A さあ飯にすつか

勇者A タケシいくぞ

タケシ はい、マスター・・

二人は家に入った。

プル（タケシつて奴いにな～・・、魔物なのに・・家にはいれるのか・・）

プル（俺ベトベトしてるし、臭いから、仕方ないけど・・羨ましいな・・）

プルは羨ましそうに、暗い馬小屋から家の窓の明かりを眺めていた。

リン 夕食できたわよ

勇者A お、うますぎ

勇者A いただきまーす

タケシ ・・・

リン タケシちゃん、どうしたの？

勇者A どした、タケシ、遠慮せずに食えよ。

タケシ 僕・・ゴーレムだから話しか食えません。

勇者A そりなのかな、そりやすまなかつたな

勇者A ちょっとまつてろ！

勇者Aは家を出て行つた。

勇者A ただいま～ほら戻だぞ～

リン おかいり

勇者は近くの岩山から岩を拾つてきた。

勇者A さあ、食え！

タケシ ・・・ 頂きます・・・

タケシ (並つて・・・俺上質の花崗岩しか口にあわないんだけどな・・・我慢するか・・・)

タケシ ・・・ バキバキ・・・ガラガラ・・・

勇者A はー食つた食つた！

勇者A リンの飯はいつ食つてもうまいなー！

リン うふふ、ありがとー！

リン じゃ後片付けしないとね

勇者A TVでもみよーっと

勇者Aは「ゴロゴロ」はじめた

リン はー腰痛い・・・

タケシ 手伝いましょうか・・・？

リン ええ・・・

タケシはテキパキ後片付けをし始めた。

リン わ～助かる！タケシちゃんありがと～ //

タケシ いえいえ～・・・

ブルはその様子を暗い馬小屋から眺めていた。

ブル プブルプ（あいつ・・・・）

ブル ププブル・・・（やわ～・・・俺のリンさんと・・・楽しそうに話
しゃがって・・・）

ブル ププブルルウル（ぱっと出の癖に・・・すっかり溶け込んでや
がる・・・）

ブル プププププー（許さん、許さんぞ・・・）

ブル ププブル（世の中・そんなに甘くないってことを教えてや
る・・・）

ブルは暗い馬小屋でメラメラ鬪志を燃やしていた。

タケシ リンちゃん、じいじはいつも磨くところですよ～

リン タケシちゃんすご～い物知り～

タケシ いやあ、それほどでも、アハハハハ～！

o n t i n u e

第7話 勇者A編 決戦5秒前！

夜も更けてきた。

勇者A は～そろそろ寝るか。

リン そうね～ねむい・・

勇者A タケシ、おめ～馬小屋で寝ろ

タケシ え・・

勇者A ああ、言つてなかつたっけ

勇者A 俺はな、基本的に魔物たちは馬小屋で飼う方針なんだよ

リン ごめんね～、私はタケシちゃんなりいじと思つんだけど

リン 勇者Aがだめだつて言つからひ・・

タケシ 分かりました・・

タケシは馬小屋へすゞ歩いていった

タケシ (ふ～・まあ・びじで寝るのも同じことだがな・)

ガタ・

タケシは馬小屋の扉を開いた。

プル ププ～・・（ん）誰だ糞眠いのに・・）

プルは頭から伸びている触角の先を発光させた。
タケシが仁王たちして、プルを見下ろしていた。

プル プププ～（お・・おまえは～）

タケシ よう先輩

プル ププ～（何しにきやがつた！）

タケシ 別に・・

タケシは遠い目をしている。

プル （なんだこいつ、どうしたんだ・・）

タケシ 僕家から追い出されたんだ・・

タケシ 勇者Aが魔物はここで寝ろってよ・・

プル ・・・・・

プル ププ～（ここでは勇者Aが法律だからな・・）

プル ププ～（あの人は優しいんだけど、魔物のしつけにはうるさいんだよ）

プル ププ～（まあ・・仕方ないんだがな）

タケシ おめーも・・苦労してそうだな・・

プル プップ（ふ・・慣れたさ・・）

二人に奇妙な友情が芽生え始めていた。

タケシ でもまあ、俺はお前と違つて、家には入れてもうれたけどな

タケシ リンさん、可愛いよな～手すべすべしてた・・

プル !?

プル プッププ！（てめえ！リンさんの手握ったのか！！）

タケシ うん、握ったけどそれが何か？

プル プッププ！（俺は手がないし・・・・・）

プル プップルプ！（ベタベタするとか、臭いとかで・・・

プル プルッププ！（半径2m以内には近づけないんだよ・・・

プル プッププ（その俺を差し置いて、ポつと出のお前がリンさんの手触つただと～！～）

タケシ それがどうしたってなんだよ？？

プル プッププ（やるさない・・おめーに任の中の筋道つてものを
教えてやる！）

タケシ ふ・・お前にやれるのか？

プル プププ（勝負しろ！）

奇妙な友情は勘違いだったようだ。

プル プププ！（表に出やがれ！）

タケシ ふ・・何怒つてるかわからないが

タケシ 売られたケンカは買うのが俺の流儀だ・・

プル プププ！（裏庭に広場がある、そこで決闘だ！）

タケシ よからう・・・

その頃

リン あん勇者Aつたら・・もつ

勇者A いいだろ～なあリン～・・

リン うん・・

リンと勇者Aはちちくりあつていた。

第8話 勇者A編 魔物たちの夜！

タケシ あたらねえ・・

プルは物凄いスピードで跳ねまくっている。

プル プルプル！（オラア オラアー！）

プルの攻撃

特殊技 体当たりを使つた。

プル プルウウ（くらええ・・・！）

タケシめがけてプルが突っ込んだ。

プル プル～～！（俺の全てを賭けた一撃だ！）

タケシ ・・ひつかつたな！

タケシ お前が飛び込んでくるのを待つていたんだ！

プル プル！？（何！？）

タケシにプルは激突した。

タケシは40のダメージを受けた。

タケシの目がキラリと光つた。

タケシのカウンター攻撃！！

タケシの右ストレートがプルを捉えた。

プルに38のダメージ！

プルは地面に叩きつけられた。

タケシ 捶えたぞ！

タケシ ザまみろ！

プル プルウップ・・（不覚・・）

プルは地面に倒れている。

タケシ う・・・

タケシ これほどとは・・

タケシも地面に倒れこんだ。

プル プルプル・・（危なかつた・・ハアハア・・）

タケシ ハアハア・・プル・お前中々やるな・・

タケシ 見た目のしょぼさとは、えれぐ違いだ・・

プル プルプル・・（お前こそ・・とんでもなく強いぞ・・）

タケシ 今日は俺の負けってことにしておいてやるよ・

プル プルプル（なに・・！？）

タケシ 悪かつたよ・・お前の気持ちもしらねーで

タケシ リンさんにベタベタしたことは謝りつつ・・

プル プルプル・・・（まあ分かればいいよ・・）

タケシ ふ・・

二人は夜空を見ている。

プル プルプルププ・・・（なあ・・・お前・・店で売られてたんだ
つてな・・？）

タケシ うむ・・

プル プルプルプ（勇者Aが得意げに話してたよ・いい買い物した
つて・）

タケシ いい買い物か・・あの人らしい・・

プル プルプル（なんで売られてたんだ・・？）

プル プルプル（お前ほどの力があれば・・逃げ出す事も簡単だろ
うに・・）

タケシ ・・・

タケシ なんで逃げなかつたんだろうな・・俺・・

タケシ ・・たぶん・・逃げる事に疲れたんだと思つ・・

プル プル・? (ん・・?)

タケシ この夜空を見ると、思い出すよ・・

タケシ 忽まわしい過去をな・・

タケシは回想している。

プル プルプル・・(お前も・・なんか色々あつたんだろうな・・)

タケシ ・・・・・

プル ・・・

タケシ 取り合えず、俺はあの人に付いていつて、いつか・・

タケシは何か言いかけたが言葉をとめた。

タケシ まあ・・そのうち追々・・話してやるよ・・

タケシ それまでよろしくな・相棒・!

プル ふ・・

タケシが手をプルにかざした。

ブルは頭の触手をタケシの手にからめて握手をした。

勇者Aはその頃・・・
まだいちゃいちゃしていた。

リン 勇者Aつたらもう寝たいの・・・ダメー・・

勇者A まだ・・もうちょっと・・たのむよー・・リンー

To

Be Continue

第9話 勇者A編 勇者倒れる！

勇者A そろそろ仕事いつてくるわ、リン

リン いつてらっしゃーい！

リン みんな頑張つてね！

プル プルプウ（行つてきます！りんさん！）

タケシ 任せてください・・

勇者A 今日はちょっと奥地まで行くぞ！

プル プルップ（アイアイイサーー）

タケシ OK！

三人は村を出た。

勇者A ゲロイムたちはめんどいから無視な

勇者A 逃げるだろうけど、追つかけんでも良いからな

ゲロイム j k f gが現れた！

勇者たちを見ると逃げ出した。

ゲロイム a b c dが現れた！

勇者たちを見ると逃げ出した。

ゲロイム E F X Zが現れた！

勇者たちを見ると逃げ出した。

三人は暗い森の中へ足を運んだ。

木の精a b cが現れた！

勇者A おお、始めてみる魔物だ。

勇者A やうーども、やつちまえな！

タケシの攻撃

特殊技 地獄の炎！を使った。

タケシ 燃えつきな・

炎が木の精a b cたちを包む！
木の精a b cは全滅した。

300ポイントの経験値と300キル、葉っぱを手に入れた。

勇者A タケシやるなー・おめー技が豊富で助かるわ。

タケシ 大したことねーですよ

ブル ブルブル！（いやお前すぐーよ）

勇者A 良し今日の狩場はこじだ！

勇者A ちょっとキャンプはるので、お前等適当倒しどいて。

タケシ 任せな！

プル プル（o.k!）

勇者はパーティからはずれた。

数時間後・・

タケシ ハアハア・・かなり倒したな！

プル プルプル（うん、お金もいっぱいだ！）

プル プルプル（そいや、マスターは？）

タケシ キャンプ張つてから出でこないな・・

タケシ プルみててくれ

プル プル（ウス！）

プルはキャンプを覗いた。

プル プルプル（勇者A！どうせ寝てんだろ？ん？）

勇者A うう・・・

勇者Aが青ざめた顔で苦しそうに横たわっている。

プル プルプル！（どうした！…勇者A！…）

勇者A 毒蛇にかまれた・・・「うう・・・苦しい・・・

プル プルプル（何だって！-！）

プル プルプル（タケシ！-！来てくれ！-！早く～！）

数時間後

二人は勇者Aを村の医者まで連れて行った。

町医者A これは・・・

リン 先生どうですか・・・？

町医者A この症状は・・・

町医者A たぶん、かんだ奴はピリピリ蛇だろ？・

町医者A こいつに噛まれると、体内に毒が回り2日で死にます・・・

リン ええ・・・

プル プル（そんな・・・）

タケシ ・・・

リン そなあ・・・先生・・・なんか解毒の薬ないんですか！-！

町医者A あることにはあるが・・・

町医者A 東にある、ヒドリ山に住むヒドリの尻尾を煎じて飲めば助かるはず・・

町医者A しかしあそこはとても危険な場所・・地元の人間ですら近づかない場所で・・

リン ・・・ 私行きます・・

町医者A あなたが・・・? 危険ですよ・・女性一人で行ける場所じゃ・・

リン 大丈夫! 私には仲間がいます。

リンはプルとタケシをみた。

リン 力を貸して! みんな!

タケシ リンさん・・

タケシ 任せてください・・あなたを命に代えても守ります・行きましょう!

プル プルプル(俺も! リンさんは俺が守る! -)

勇者A うう・・お前等・・

勇者A すまんな・・

タケシ マスター・・待つてな・・俺達がすぐとつてくるから・・

リン よし家に帰つて準備したらいくわよ！

二人 ラジヤー！

To Be Cont

inue

第10話 勇者A編 決死のヒドラ山！前編

三人は家に戻ってきた。

リン すぐ行くから外で待つて！

二人は外で待っている。

プル プルプル（化粧でもしてんのかな・？）

タケシ さあ・・・薬草とか色々準備してるんだろう。

リン ・・・・・・

リン また・・・これを着る日が来るなんて・・

リン でも考てる暇はないわ・・

リン 勇者Aのために・・私はまた・・鬼に戻る・・

リン が外に出てきた。

プル プルウウ！（え・・）

タケシ ・・・・・ゴクン・・

リンは忍者のくのいちスースを着ている。

リン ・・・・・

タケシ (微妙にエロイ・・・)

プル プルプ (リンさん・・その格好は・・「ゴックン」)

リン あんたたち! じろじろみてるんじゃないよ!

タケシ&プル びくッ!

タケシ (どうしたんだ・・服装ばかりか・・かんじも・・)

プル (いつものリンさんじゃない・・・)

リン もたもたしてる暇はないよ!

リン さあ馬車に乗れ!

二人は言われるまま馬車に乗った。

リン 飛ばすよ!

馬車は疾風のよつよビードラ山へ轟進した。

プル プルプル (ハアハア・・・なんてすい) 馬車さばき・・)

プル プルプル (勇者^よしす^) い・・酔っちゃったよ・・ウゲ)

タケシ ・・・・

タケシ さすが勇者^の奥さんだけのことはあるな・・

タケシ リンさんも只者じゃなそうだ・・・ゲロゲロ・・・

一人は馬車からゲロを垂れた。

キキキキ――――――!

馬車が急ブレーキをした。

その反動で一人は馬車から放り投げられた。

プル うわああ・・

プルは地面に激突した。

プル プルプ（イタタタタ・・腰打つた・・）

タケシは空中で回転すると地面に着地した。

タケシ おめ～腰あつたんか・・

プル プルプ（腰くら～あるわーほらー）、（ーーー）

タケシはプルが触覚で指す場所をみたが、どこが腰か分からぬ。

タケシ ・・・それは・・おいといて・・

タケシ ここがヒドラ山か・・

リン てめーらーここは魔物がつよいとする場所よー油断するなよー

リン ちやあちやあ歩きなーといいくよーてめーたちー

タケシ ヘイ・姉御！

ブル (びくびく・・)

三人はヒドラ山を登つて行つた。

e!

T
o
B
e
C
o
n
t
i
n
u

第11話 勇者A編 決死のヒドリ山！中編

土男が現れた！

タケシ くらえ！

タケシの攻撃

土男に30のダメージ！

プルの攻撃

土男に20のダメージ！

リン はあああー！

リンの攻撃！

特殊技 地走り！

土男Aに58のダメージ！

土男は倒れた。

経験値700ポイント、600キル、花崗岩を持っていた。

リン ふん！

タケシ つええ・・りんさん・・

プル プププ（リンさん勇者Aより強いんじゃ・・）

リン ・・・

リン そんなことせびりでもいいよー。ヒジの居場所吐かせるんだよ！

土男A ・・・

タケシ 吐け・・・？

タケシ お前で何人目だと思つてるんだ・・・？

タケシ ハロスぞ・・・？

土男A ふん・・

フル プププ（俺に任せな・・・タケシ）

フルは鋭い目つきに変わった

フル プルププ（土男Aよ・・・・）

フル プププ（この間さあ・・お前の妹にたまたま会つたんだけ
どさ・・）

フル プププ（あんまし、かわいいんで、せりつかまつたよ・・）

土男A なんだと・・?土実を?

フル プルププ（そりやつ、その土実ちゃん・・）

フル プルププ（かわいいよな・・・・）ハボコしてて・・）

プル プルププ（でもな～・お前の妹、勇者Aにわたつちまつたん
だよ・・）

土男A 誰だそいつは・・?

プル プルププ（奴は女好きだし、変態だし、今頃どうなつてるだ
ろうなあ・・）

土男A 土実・・

プル プルプ（でもよ～、俺は奴の親分だから、今から携帯にか
けりや）

プル プルプ（辞めさせる事もできるんだぞ・・？）

プル プルプ（吐いちまえよ・・・それで妹は解放されるぜ・・）

プル プルプ（良い取引だと思うんだがな・・・）

土男A そんなもの信じられるかよ・・

プルは遠い目をしてみた。

プル プルプ（たつた一人のアニキに見捨てられたか・・）

プル プルルプ（かわいそつにな～お前の妹もよ～・・）

プル プルプ（じやあ俺達いくわ・・あばよ・・）

プルは立ち去る。した。

土男A ま・・待つてくれ！・わ・・分かつた、言つよ・・このEの中腹に岩がある・・

土男A その岩の右橋のデッパリを叩けば岩が崩れ

土男A ヒドラ様のいる部屋にいけるよ・・

土男A さあ言つたぞ、勇者Aとやらに連絡してくれ！！

プル プルプル（だそうだ・・タケシ・リンさん・・）

プル プルプル（土男Aよ、悪かつたなあ・・）

プル プルプル（嘘だよ・・まんまとかかったな・・）

土男A な・なんだつてーーこのやうつー！

プルの攻撃

火炎放射！

土男Aは息絶えた。

プル プルプル（ふー哀れな奴・・）

プルはいつものとぼけた顔に戻った。

プル プルプル（さあいきましょーー）

タケシは一部始終、プルのやり取りを聞いていた。

タケシ こいつは・・・・・

タケシ (昔、闇金の取立てでもしてたんじゃ・・・)

タケシ (こいつ何者なんだ・)

タケシ あなどれねえ・

タケシはプルを見る目が変わった。

プル プルプル (俺なんかいつた?)

タケシ さっきの会話なんなんだよ・?

タケシ お前って・・ひょっとしてかなりブラックな奴なんじゃねーの・・?

プル プルプル (ああいまの? 昔TVでそういう映画みてさ・)

プル プルプル (ちょっと真似てみただけだよ、ハハハ!)

タケシ なんという迫真の演技・・

タケシ おめえ劇団に入ったらスターになれるぜ・・

タケシ (バツクリセセヤガつて・・)

リン てめーら! 分かったか?

プル プルプル（ヘイ！）

タケシ 姉御いきましう、中腹にある岩場へ！

三人は岩場へやつてきた。

デッパリを押した。

岩が崩れ緒落ちると階段が現れた。

リン この下にはヒドラがいるんだね・

リン てめーらー..覚悟はできてるかい？

タケシ ふ・・愚問ですよ、姉御

プル プルプル（行きましうー）

第1-2話 勇者A編 決死のヒドリ曰く！-後編

ヒドリ 何者じや・・

リン わあね〜・

リン ただあんたの尻尾貰い受けに来たもの・・とだけ言つとくか
ね・・

ヒドリ 尻尾・・

タケシ 尻尾分けてくれないか・?

フル プルプル（ジーさんケチケチすんなやー！）

ヒドリ 尻尾つて・・・あげるつて・・・切れつていうのかな？

リン そうじつになるとなるね・

ヒドリ そんなんしたら痛いじゃろ・・

フル プルプル（うるせー一つベニベ言わずに渡しなー！オラーー！）

フルの攻撃！

ヒドリには通じない

ヒドリ 礼節を知らん奴じや・・ フン！

ヒドリのバリアの衝動！

プルに10のダメージ

プルは壁に吹き飛ばされた。

プル ぐあああ・・

タケシ くつ・・

タケシ プル大丈夫か・・?」のやるへ!

タケシの攻撃

特殊技 地獄の炎!

ヒドラにはきかなかつた。

ヒドラ ふあふあふあ、ワシは炎の化身だぞ・

ヒドラ そんなの効くわけないじやろ・

ヒドラ やれやれ・・全く礼儀の知らない奴等ばっかりじや

ヒドラ 皿上のワシへの態度がなつとらん

リン (く・・とてもかな) そうにないね・・仕方ない・・

リンは煙球をつかつた。

リンはいつもの格好に戻つた。

リン すみません、ヒドラさん・・

ヒドラ ん・・せつとき感じがすいぶん違つの・・

リン あのスース着ていると、性格変わるんです。

リン あの・・実は・私の夫が蛇の毒にかかつて死に掛けてるんです。

リン 助けるために、どうしてもあなたの尻尾が必要なんです・・

ヒドラ ふむ・・・・なるほどな・・

ヒドラ あいわかった・・尻尾を・・

ヒドラ と、言いたいとこじゃが・・痛いのと血は嫌いなんじゃ・・

ヒドラ 悪いが他あたつてくれ・・

リン そんな・・

リン (ここの糞ジジイ!-!)

リン (搦め手失敗!-!)

リン こうなれば・・

リン ふん! こうなれば実力行使よ!
このいちリンに戻つた。

リン ふん! こうなれば実力行使よ!

ヒヂラ ももお・ねーちゃん、ワシにかなつと歸つてゐのかー?

ヒヂラ やめたまつがいいぞ・・

リン ふふ・・

リンの攻撃

特殊技 クノイチ忍術 色!

煙がリンを包む

リンはエロイ格好になった。

リン ・・・おじ~れん・・

ヒヂラ な・・なんじゅ・・

ヒヂラ せだキヂキしてこる。

リン あのね・・リン・・・あなたをみたときから・・

リンはヒヂラに擦り寄つた。

フル プルルプ(り・・リンセ・・エロ過セ・・)

フルはリンのエロイ格好に釘付けである。

タケシ つづ・・・エロイ・・

リンはタケシのほつをチラつとみた。

タケシ はつ！

タケシ これは・・（わかりやした・・リンさん・・）

リン おじーさん・・男前ね・・チラ・・

リンは袴から太ももをちらつかせた。

ヒドラ うひょお・・若い女のふともも・・いいのあ・・

プル プルプル（鼻血が・・とまらねえ・・たまんね・・）

プルは出血多量で10のダメージを受けた。

タケシの背後からの攻撃！

特殊技 タイタンソード！

ヒドラの尻尾の先っぽを切り取つた。

タケシ リンさん～！

タケシは尻尾をリンに投げた。

リン よくやつた！タケシ！

タケシの尻尾をリンは受け取つた。

リンは煙玉を使った。

忍者スースに変わつた。

ヒドリ なんじや・・もつおしまいか・・ん?

ヒドラは尻尾の先をみた。

尻尾の先はなくなつて血がどくどく流れている。

ヒドラは暴れだした。

お前達、洞窟が崩れる前に逃げるよ!!

ア川アテ(アイアイサ!!)

タケシ
了解！

ヒヒ
迷かすか

ビトニはタクシの足はかみこいた

ノルマニ

卷之三

フル フルア（タケシー！）

タケシ 放せ！」のせろー！

ヒド ラ 食い殺してやる・・

タケシ く・・・！」」までか・・

二人がタケシを助けようと駆け寄った。

タケシ くるな！

リン なにいつてんの！

プル プルプル（助けなきや・・・！）

タケシ だめだ！来るな・・お前らのかなう相手じゃない！

タケシ 奴が俺に構つてゐる間に逃げるんだ！

タケシ そして勇者Aに尻尾を届けるんだ・・

リン そんなことできるわけ・・

プル プルプル（お前をみすてていけるわけないだろ・・）

タケシは真剣な顔で一人をみた。

タケシ 勇者Aに尻尾を届けないと、勇者Aは死んでしまう・・

タケシ あの人を死なせるわけには行かない・・

タケシ 大丈夫さ・・・俺ならなんとかなる・・

タケシ 行つてくれ・・

プル　・　・　・　・

プル　プルププ（タケシ・・・）

プル　プルププ（りんさん、行きましょう・・）

タケシ　そうだ・行つてくれ・

リン　そなことできるわけ・・・うつ

プルは背後から電氣ショックでリンを氣絶させた。
リンは倒れた。

プル　プルプル（・・タケシ・・絶対生きて帰つてこいよ・・）

タケシ　・　・　・　・　・

タケシ　・俺が死ぬわけないさ・・

プルはリンを頭の上に抱えると洞窟を出て行つた。

タケシ　プル・・リンさんを頼んだぞ・・

ヒドラ　逃がすかー！

ヒドラ　こいつぶつ殺したら、すぐにあいつ等も追つていって、ハ
つ裂きじゃー！

タケシ　・・そつはさせねえ・・

タケシ ジーさん・・悪いが道すれになつてもひづれ・・

ヒドラ なんだと・・

タケシ 一緒に地獄へ行こいつや・・

タケシの攻撃

特殊技 超自爆！

タケシの体が光る！

ヒドラ ぐわあああ、まさかワシがああ・・

タケシ ・・・わいば・・・・・

洞窟内をすごい爆発が襲う。

洞窟は崩壊した。

山は溶岩が流れ始めた。

プルたちは山の入り口まで降りてきた。

プル プルプル（ここまでくれば・・ハアハア・・・）

リンが目を覚ました。

リン う・・う・・こひれ・・

リン あ・・・プル・・

リン !?

リン タケシ！タケシはどうして…

プル ……

リン ……

リン うう…アイツかっこつけやがって…

プル プルプル（リンさん…）

リン タケシ…

リンは泣き始めた。

リン うう…

プル プルプル（タケシは…俺達…いや…リンさんを守つさう
たんだよ…）

プル プルプル（タケシ…）

プル プルプル（取り合えず勇者Aを治療しに帰りましょう…）

リン ……うう…

リン そうだ…あいつの死を…無駄にしないために…勇者
Aに尻尾を噛けないとね…

リンは静かに立ち上ると山の方を見た。

リン タケシ・・・

リンは勇者Aのいる村へ馬車を走らせた。

To Be Continue

ue

第1-3話 勇者A編 勇者復活！？

プルとリンは村についた。

リン

リン . . . 急がなきゃ . .

プル プルプル（勇者Aの病院へ！）

リン あ . . この格好じゃ . .

リンは煙球を使つた。

いつもの格好に変わつた。

ガターン！

リンは医院のドアをこじあけた。

リン 先生ー！

リン 先生ー！

リン 帰つてきました・

プル プルプル（勇者Aー！）

町医者A ん？リンさん、どうされましたか？

リン 尻尾を・・ヒドリの尻尾を持ってきました・

町医者A ほほお・・・

町医者A 頑張りましたね・・・

町医者A ・・・・・・

リン !?

リン 先生どうされたんですか・・?

町医者A ・・・・・・

町医者A 大変言いにくいんですが・・

町医者A 先ほど勇者Aは息を引き取りました。・

リン !? !?

リン え・・・・・・

リン なんで・・?

ブル ブルプ(そんな・・)

リン そんな・・ 勇者Aが・・

ブル ブル(まだ時間はあるはず・・)

町医者A 私が予想した以上に毒の周りは早く・・・

リン　うう・・・そんな・・・

プル　プルプル（そんな・・・これじゃ・・・タケシは、一体なんのために・・・）

リンは泣き崩れた。
プルも泣いている。

町医者A　・・・・・・

町医者A　・そして、彼が死んだ後・・・

町医者Aはメガネを外した。

町医者A　不死鳥の尻尾をつかって、すんなり蘇生しました！

町医者A　ピンピンしますよ！

リン　え・？

プル　プル（へ？）

勇者A　リンどうしたん？

勇者はトイレから帰つて來た。

リン　え・・・

プル　プルプル（勇者A！）

勇者A おめーいらす帰り！

リン 勇者A～～～～！

二人は勇者Aに抱きついた。

勇者A なんだなんだ、はは、そんなに抱きつくなよ

リン 勇者A・・・よかつた・・・ほんとに・・・よかつた・・

プル プルプル～！ベトベト・・

勇者A じゅうプル、服がめちゃめちゃだら・・

勇者A ふ・・・・

勇者A ・・心配かけたな・・

町医者A まあ私の迅速な治療のおかげですよ、ハハハ！

プル プルプル（てめえ・・・紛らわしいヒツバリ方しゃがつて～！）

プルの触覚攻撃

町医者Aに往復ビンタ炸裂！

町医者Aに3のダメージ

町医者A ひえええ・・・

リン プルちゃん、そのへんにしてあげなさい。

プル プルプ (「このやうへ）

勇者A ははは！

勇者A ん・・・?

勇者A あれ、タケシは・・?

リン ・・・・・

プル ・・・・・

リンは一部始終を勇者Aに話した。

勇者A そんなことが・・・

リンはビデラの尻尾を勇者Aに渡した。

勇者A 俺のために・・・これを・・

勇者A 命がけで・・タケシが・・・

リン タケシちゃんは私達を逃がすために・・

プル ・・・・・

勇者A タケシ・・

u
e

タケシ
うづ・
・
・

タケシ
ん・・・ニ

タケシは目を瞑ました

卷之三

卷之三

タケシ とこだま

卷之三

卷之三

タケシはあたりを見回した

タケシ（ベジ・ア・・）

タケシ
(石の壁・・どこかの建物の中のようだが・・)

タケシ

タケシ う・・・

タケシ 痛・・

タケシ この痛み・

タケシ 死んだはずなのに・・やけに痛みやがる・・

タケシ ん・・これは・・

タケシは痛みがある場所に視線をやつた。

タケシ これは・・・包帯・・・

タケシ ・・・治療の跡・・

タケシ 死人に包帯・・?

タケシ ・・・

タケシ (窓があるな・・・)

タケシは静かに立ち上がると、窓に向かって歩き始めた。

タケシ ここは・・・

タケシは窓の外を眺めた。

タケシ 砂漠・・・?

窓の外は砂で覆われていた。

？？ お田覚めになられましたか・・・？

タケシ ・・・！

タケシ お前は・・・？

？？ 私はトーラスと申します。

亀のような魔物が立っている。

タケシ ・・・。

トーラス あなたをお救いし、この宮殿へお運びしました。

タケシ ・・・！？

タケシ なに・・・

タケシ まさか俺は生きて・・・

トーラス 生きておられます、危なかつたですが・・・

タケシ ・・・！

タケシ そうだ・・・

タケシ リンさん・・・ブル・・・勇者A・・・

タケシ じつしてまいられない・・帰らなくては・・

タケシ 痛・・・・・

タケシ く・・・

タケシは肩ヒザを地面に付いた。

トーラス まだ動く事は無理です・・

トーラス ベッドにお戻りください・・

タケシ 寝てなんかいられねーよー！

タケシ リンさんが・・あいつ等が・・待ってるんだよー！

タケシ 帰つてやらないと・・・

トーラス ・・・・・

トーラス 時が経てば・・やがて彼らの記憶からあなたは消えるでしょう・・

トーラス 人間とはそういうものです・・

タケシ なんだとー？

トーラス そして・・あなたにはあなたの使命があります・・

タケシ 使命だと・・?

トーラス ・・・

トーラス そうです・・・

トーラス あなたは分かっているはず・・

トーラス この紋章を見ていただければ・・

トーラスは上着のポケットから何かを取り出した。

タケシ こ・・・これは・・・・!?

To Be Continued

第15話 勇者A編 再会！

リン

勇者A リン、飯は？

リン

勇者A 飯い！

リン うるさい！外でラーメンでも食べてきてよ！

勇者A へいへい・

勇者A . . .

勇者A (リンの奴・・もうずっとこの調子だ・・)

勇者A (ブルの奴もなんか馬小屋でふわわわいんでるし・・)

勇者A ふー・・

勇者A (タケシの穴は大きいなあ・・)

勇者A ラーメンたべにい・・

勇者A は家をでた。

ガラガラ

勇者A おい、オヤジ！味噌ラーメン一つ！

店主A ヘイ、味噌ラーメン一丁！

店主A おまち！

勇者A ズルズル

勇者A ふ・・・

勇者A (3日目だよ・・・ラーメン・・・)

勇者A (たまには肉くいってえよ・・・)

猫A ニヤア〜

勇者A ・・・ズルズル

勇者A しつしつ・・・あつちいけ

猫A ニヤアア――――――

勇者A ・・・

勇者A しゃーねーな・・

勇者A ほらくえ・・

勇者Aはポケットから「ボシを取り出した。

猫は美味しそうに食べている。

勇者A ふ・・・・

勇者A (猫は『気楽そうでいいなあ・・・

勇者A ・・・ズルズル~「ゴクン

勇者A セヒト・・

勇者A オヤジ、ここに金おこし〜くせ

店主A ありあしたー!

勇者A は店をでた。

勇者A ふ・・・・

勇者A はらへつたー・・あんなんじや足りねえよ・・

勇者A ・・・

勇者A はー・・じすつかなあ・・

勇者A (「のまま帰つても、リンはしゃべらないし・・・

勇者A (アルはへたれてるし・・・

勇者A だりいなあ・・

勇者A (パチンコでもよつてくかなあ・・・)

？？ おー勇者A！勇者Aじゃねーか・・・

勇者A ・・・！？

勇者A 誰だ・？

？？ 僕だよ僕・・

勇者A 僕って言われても・・

勇者A 僕僕詐欺の人？

？？ 違うわい！

？？ 勇者高校で一緒だったシギトだよ！

勇者A ああ・・・

勇者A えーと・・・誰・・？

シギト ははは・・相変わらずお前記憶力悪いな・・

シギト ・！

シギト これに見覚えないか・・？

シギトは長髪を上に持ち上げた。

勇者A !

勇者A その1円ハゲ！

勇者A おお、お前は・・辻斬りシゲトじゃねーか！

シゲト やつと分かりやがったか！

勇者A 元気だつたか？

シギト おうよー！

勇者A 懐かしいなあ・・

勇者A 何年ぶりだろ

シギト 6年ぶりくらいかな

勇者A そんなんに経つたか、早いなあ・・

勇者A 今どこに住んでるんだ？

シギト このキル村から東に行つたオルカ村に住んでるよ。

勇者A そつかそつか

シギト お前は？

勇者A 俺はこの村に嫁と住んでるよ。

シギト ほー嫁さんもらつたのか

勇者A うん

シギト いいよなー俺もかわいい嫁さんほしよ。

勇者A ははは！俺の嫁さんはテラ美人だぜー！

シギト いいなあ・・

勇者A ・・・！

勇者A そうだ、お前おれんち寄つていかねーか？

シギト お、いいのか？

勇者A いいよー！

シギト じゃあ行つてみるかな

勇者A よし、行こう！

勇者A (家の雰囲気も暗いし・・)

勇者A (「いつ連れてけば、ちょっとはリンクたちも明るくなるかもしれない・・)

i
n
u
e

勇者A編 番外編 タケシのいない朝！

勇者A タケシ・・・

リン・・・・・

プル プルップ（あいつは・・最後まで勇敢だつた・・）

リン・・・私がもうちょっとつまくやつてれば・・

プル プルップ（リンさん・・でも・・勇者Aも無事だつたんだし・・）

プル プルップ（タケシも・・あの世で喜んでるはず・・）

リン・・・・・

リン 取り合えず家帰りましょ・・

勇者A おう・・帰ろうか・・

三人はわが家に着いた。

プルは馬小屋ヘトボトボ入つていつた。

ガラ～
ドン
グチャ・・

プル プルプル（疲れた・・・）

プル プルプル（取り合えず・・・寝よが・・）

プルは眠りについた。

リン ・・・

勇者A どうしたんだよ・・リン

勇者A 元気だせよ・・

勇者A 俺元気になつたんだし

リン ・・・そりね・・

リン でも・・

リン タケシちゃんは死んだ・・

勇者A ・・・

勇者A 寝るか・・

リン ・・・うん

勇者A （はあ・・・参つたなあ・・・）

勇者A ・・・

勇者A ZZ

夜が明けた

勇者A ん~・

勇者A もう朝か・

勇者A リン・・おはよ~・

勇者A いねえ・

勇者は起き上がると台所の方へ向かった。

トントントントン・

リンが調理場に立っている。

勇者A おはよ~

リン おはよ・

リン はい、お味噌汁

勇者A おお、ありがと

リン 私・・また寝るね・

勇者A え・・さつ起ききたばかりだろ・

リン 昨日中々寝れなくつて・・・

リン いねえ・

勇者A そつか・

リン あ・・・

リン プルちゃんに上かお願いしてもいい・?

勇者A 任せとけ

リン 冷蔵庫に牛入つてゐるから・

勇者A おつ・

リン じゃねやあみ・

勇者A ねつ ねやあみ

リン はやく家へ歩こつた。

勇者A せんと・

勇者Aは牛を冷蔵庫から取り出した。

勇者A だけえ・

勇者A あいついんなもん、毎日食つてゐるんか・

ズル～ズル～

勇者Aは牛をひきすりながら、馬小屋へやつて来た。

ガラ

キイ～・・

馬小屋の中は暗い。

勇者A ん・・・ プルビニだ・・

勇者A プル～えせだぞ～

勇者A ふぬけやんや～い

ブーン

勇者A ハニ・・

勇者A こじたかるなよ・・

勇者A くせーな～・

勇者A 掃除たまにはせんと虫わぐぞ・

勇者A べりや・・

勇者A ・・！？

勇者A なんか踏んだぞ・・・

薄つすりと何か水溜りのよつたものが足元に見える。

勇者A なんだこれ・・・?

水溜りのよつたものから、何か伸びてきた。

勇者A ん・・・?

勇者Aの体にそれは障ると、水溜りがざわめき始める。

勇者A ひえええ

勇者A なんじやこりや ああ・・・

プル プルププ（ん？おはよつ・・・勇者A・・・）

勇者A プルかよ・・・！

勇者A 驚かすなよ！

勇者A ハアハア・・・

勇者A （なんておつとろしい登場の仕方を・・・）

勇者A （ホラージやねーんだぞ・・・ここのやつ・・・）

プル プルププ（なんか用・？）

勇者A ほら・えさだぞ

勇者A 食え

プル ・・・

ニユル～・・ガバ！・グチャグチャ・バキ！・グキ！・ボキ！・ゲロ
ゲロ～ゴクン・・

プル プルプル（・・食つた・・さてまた一眠りするか・）

勇者A ・・・

勇者A （俺なんてものを飼つてゐるんだ・・）

勇者A ・・・

勇者A さてと

勇者は馬小屋を出た。

太陽の日差しがまぶしい。

勇者A ・・・

勇者A 暑くなりそうだ・

勇者Aは家に入つていつた。

第16話 勇者A編 シギトの訪問！

勇者A 今けーつたぞ！

勇者A ・・・

シギト ん？

シギト 留守か？

勇者A いや・・・

勇者A ちょっとな・こりいろあつて・

勇者A まあ入ってくれよ。

シギト お・お・じや、お邪魔しまーす！

リン ・・・？

リン ん・誰かお客様・？

リン ちょっとこきなり・勇者Aつたら・・

リン こんな顔で出れるわけないのにーへへ

ガタタタタタタ！ドン！痛い・・！

リンは化粧をしに急いで自室へ上がつていった。

勇者A ・・・ (イヤコ)

勇者A (ふふふ・・・)

勇者A (いくり・・・コンとこえども・・女)

勇者A (化粧もしないで・・・3日もふやれいじんでるやうだ・・・)

勇者A (男の密がくれば・・・)

勇者A (計画通り・・・・・)

勇者Aは親指を立てた

勇者A まあまあシギトよ、 じいじで座つとこいくれよ

シギト 分かつた。で・・・奥さんは?

勇者A 今戦争中だらうよ・・・

シギト は?

勇者A まあこいつてじよ、 ふふふ・・・

しまじくすと、 リンが降りてきた。

リン じんにちわ～はじめまして・

リン 勇者Aの家のコソと申します。

シギト はじめてまして、勇者Aの友人でシギトと申します。

リン 勇者Aのお友達ですか~

シギト はい

シギトはリンをマジマジと見つめている。

シギト ・・

シギト ・・

シギト 美しい・・

シギト あなたは女神さまのようだ。

リン え・・・

リンは顔を赤くしている。

勇者A シギト・今寒いほたつたゞ・・

シギト いやあ・・ほんとの事言つただけだよ。

リン そんな・・

シギト リンさん、ほんとに美人じゃねーか

シギト いのやろーー!幸せものめ!

シギトは肩で勇者の胸を押した。

勇者A ははは・・まあね・・

リン シギトさんよ、勇者Aと同じで知り合ったんですか？

シギト えっとですね、勇者高校って知っていますか？

リン いえ、知りません。

シギト そうですか、勇者を育てる学校でしてね。

シギト その同級生なんですよ。

勇者A そうなんだよ

リン へ

過去の話に花が咲いている。

勇者A そりなんだよ、こいつが苛められてるときに

勇者A 俺がよ、助けてやつたんだよー。

シギト バカ！俺が助けたんだろ

勇者A そりだっけ・？

シギト そりだよー相変わらずお前記憶力悪いな！ハハハハ

リン アハハハハ！

勇者A (リン・・樂しそうだ・・)

勇者A (ここに連れてきて良かつた・・)

勇者A セウジヤシギトよ

勇者A 今なにしてんだ？

シギト 俺か？

シギト 俺は今、フリーの傭兵してるよ。

勇者A ほー。

シギト どこかで魔物が暴れてたら、始末しにいつたり

シギト 誰かの用心棒として雇われたり

シギト そういうの、今食つてるよ。

勇者A ほー流れ者か~かつく~にな~

シギト そうか？結構大変だぞ、毎回命がけだよ

シギト 今度もせ、ここから南の島に化け物が出現しちゃってよ。

シギト 俺退治頼まれてるんだよ。

勇者A ほー報酬いくらなんだ?

シギト 100000000キル!

勇者A どひえええ・・

勇者A すげえな・・

リン すごいー・・

勇者A 一攫千金だなあ・

シギト まあな・

シギト だけど・・それがちょっと問題あつてな・・

勇者A ん?

シギト ・・・!

シギト なあ・勇者A・・ちょっと今回の仕事手伝わないか・?

勇者A ええ?

勇者A 僕がか・?

tinue

To Be Con

第17話 勇者A編 商談成立！

シギト 島を支配している「たこ」坊主って奴がターゲットなんだ
が・・

シギト そいつ一人なら、なんとかなるんだが・・

シギト 部下も引き連れてるんだよ・

シギト だから、ちょっと一人じゃ辛いんだ・・

シギト 勇者A、力貸してくれないか?

勇者A そう言われてもなあ・・

シギト 成功報酬は半々だ、どうだ・・?

勇者A 半々!?

リン ・!

勇者A 50000000キルか・・?

シギト そうだ

勇者A ・・・・・

勇者A (どうしょ・・・)

勇者A (50000000キルあれば・・なんでも買えるや・・・)

勇者Aは皮算用をはじめた。

勇者A (えーっと・・やつぱつまい飯かな・?)

勇者A (つまこ肉たらふく食つて・・車買つて・・・)

勇者A (でもやっぱ・・家だよな・)

勇者A (でも、大きい家とか買つても、うち子供いないしな)

勇者A (やっぱあれだよ・・船だよ船!)

勇者A (でつかい船買つて、あむかバカンスだよな!)

リンも皮算用をはじめていた。

リン (・・・・・)

リン (まづ、宝石だわ・・50000000キルあれば・・・)

リン (ダイアモンドのすゝこの買えちやう・・・)

リン (そんでもつて・・ブランドものの服とか・・新しい食器棚)

リン (洗濯機・・大型液晶テレビ・・ああ・・なんでも買えちやう・)

リン (やつだ! 船を買おう・・で南の島にいくの・・・・)

二人は途中までバラバラだが最後は一致している

勇者A エヘヘ

リン うふふ

二人はだらしない顔をしている。

シギト おーい・・帰つてこーい・・

勇者A は！

リン う！

二人は夢の世界から帰つてきた

シギト で・・・どうだ・?引き受けてくれるか?

勇者A 引き受けるのはいいけど、役に立てるかな?

シギト ふむ

シギト まあ、大丈夫だろう。

勇者A 自信ないなあ・・

勇者A お前は仕事こなして、かなり強くなつてそうだし

勇者A それに比べて俺なんか・・

シギト 大丈夫、お前ならできる

シギト それに、まだ田にちはある。

シギト そうだ、俺と特訓しないか?

勇者A ええ?

シギト お前ならすぐ俺に追いつけるよ

勇者A そりかな・・

シギト とりあえず、近くで一緒に魔物狩しないか?

シギト お前と久しぶりに暴れてみたい!

勇者A ふ・・・

勇者A よつしゃー北にあるトール遺跡へ行こう。

勇者A このはんにしちゃ、強い魔物いるぞ

シギト よし決まりだ

シギト ただ、今日はもつ遅いし

シギト 明日行こう。

シギト じゃあ・・

シギト 俺は近くの宿屋に泊まるよ。

勇者A え・俺たち泊まつていけよ

シギト え・・

シギト 迷惑だろ・

勇者A 水臭いな・・勇者高校の仲間じゃねーか

勇者A リンいい・?

リン うん、1階の部屋空いてますから

リン シギトさん、よければ、泊まつて行ってくださいな

シギト ・・・!

シギト じゃあ・お言葉に甘えてー

第18話 勇者A編 シギトの魔物講義ー（前書き）

今日は「迷惑おかげしました。」

（掛かつてないかもしないですが・）

勘違いしていました。

私は私の作品の完成度を煮詰めるだけです。

申し訳ありませんでした。

第18話 勇者A編 シギトの魔物講義！

リン 勇者A、シギトさん、お食事できました。

リン 今日はビフテキですよ

勇者A おお、リン・・・最高！（ああ・・・久しぶりの肉・・涙）

シギト 有難いります。

シギト 急に押しかけてきて、泊まる場所だけでなく、食事まで頂いて・・

リン いえいえ、遠慮せず食べてくださいね。

勇者A そつだ、食え食え！

勇者A ガブムシャムシャ・・・

勇者A うう・・・肉うめえ・・ラーメンとは大違い・・

シギト ラーメン？

リン !?

勇者A そつなんだよ、ラ・・

リンは勇者Aの足を踏んだ！

勇者A ぐええ・・・

リン そ・そ・う・う・シギトさんは魔物と一人で戦うんですか?

シギト いえ、仲間がいますよ。

リン へえ・

シギト 俺が野で捕まえた魔物なんですがね

シギト 人間は、色々人件費とかで金かかるもんですから

シギト 魔物はタダだし。

シギト どうしてもコスト面で魔物を選んじゃいますね。

リン ふうん。

勇者A ふむふむ、分かる分かる・魔物つてタダだもんな、

勇者A ムシャムシャ・・

勇者A (飯代かかるけど・・)

シギト ただ、俺が最初に捕まえた魔物が

シギト 非常に使える奴でして。

シギト 今じゃ私の掛け替えのないパートナーです。

リン パートナーですか、仲いいんでしょうね。

シギト 仲いいっちゃいいかな

シギト まあ、そいつ以外にも3匹ほど、魔物たちいますがね。

勇者A ほお・・・いいな・・・3匹もいるのか・・

シギト 勇者A、お前はどうなんだ?

シギト 仲間いるのか?

勇者A ああ・俺も魔物が一匹、今仲間でいるよ。

勇者A 人間は・・信じられないしな・・

シギト ・・・

シギト 色々あつたんだろうな・・

勇者A まあな・・

シギト その魔物はどんなやつだ?

勇者A うーん・・まあ・・・頼りになるつちやなるけど

勇者A パートナーつて・・ほどじやないかな・

リン 勇者Aひどい・・

リン あれだけ「キつかつてゐるへせに・・・

勇者A だつて・・・

リンは勇者Aを睨んでいる。

勇者A ・・・・・う

勇者A い・・・今の嘘嘘!めちゃめちゃ頼りになつてゐるよ・・・

勇者A 荷物運びとか!雑魚魔物処理とか!癒し系ペッタとして・・・

全然フォローになつていない。

シギト ははは、まあ最初の「ははは、どんな魔物も弱いよ。

シギト でもな・・

シギトはワインを飲むとテーブルに置いた。

シギト 死と隣り合わせの戦いで、戦闘を共にしていぬけない

シギト 魔物たちはだんだん力をつけ、主人と魔物たちとの信頼も自然と深くなつてくる。

シギト そして・信頼が絆とよべるものに変わる頃になると

シギト 魔物は本来の力以上のものを發揮するんだ。

勇者A ほお・・

リン ・・

シギト まあ・・・そいつが誠実である事と

シギト 苦難に打ち負けないハートを持つていることが必須だがな。

勇者A ほおほお・

勇者Aはあまり理解できていない。

シギト 一番大切なことはその信頼に・・

シギト 応えつる主人である事だ！

勇者A ふむ・

勇者A (信頼か・・・)

勇者A (俺・・・ブルに信頼されてるのかな・・・)

勇者A (うーん・・・)

勇者Aは悩んでいる。

シギト そうだ、一度お前のその魔物と会わせてくれないか？

シギト 会つてみたい。

勇者A え・・・?ブルに?

シギト プルつていうのか

勇者A ゲロイムのプルだよ。

シギト ふむ、ゲロイムね

勇者A あはは・・よわっちそうだろ・・?

シギト いや・・魔物の種類は関係ない。

シギト ハートが一番大切さ。

シギト 俺はそいつの目を見れば、どういう奴だか大体分かる。

シギト 会わせてくれないか?

勇者A いいけど・

勇者A じゃあ、飯食べ終えたら馬小屋に行こう!

第19話 勇者A編 嵐の前の静寂！

勇者A じゃちょっと、シギト馬小屋連れて行つてくれるわ。

リン いつてらっしゃーい！

シギト じゃ行こう。

二人は馬小屋に足を運んだ。

勇者A さてと

勇者A ふるちゃんやーい

勇者A プル吉～

勇者A 出でついで～

プル ・・・！？

プル プルプ（うつせーな・・）

プル プルプル（眠いから、シカト・・）

プル プルブル（・・・ZZ）

プル プルプ（ん・・？）

プル プルプ（なんだ・・この背筋の凍る感覚は・・）

プル プル（う・ー・？）

プルの前に勇者が立っていた。

勇者A こら・・・・・立て・・・・・

勇者A 「ご主人様に・・恥をかかせるな・・

勇者Aはプルの触覚を引っ張りもちあげると
顔に剣の切っ先を当てた。

プル プルププ（ヒ・・ヒ）殺さないで・・

プル プルププ（た・立ちますから・・命ばかりは・・）

プルはピョンと跳ね上ると地面に着地した。

勇者A それでいいんだよ、世話かけるな

プル プルププ（ふ）・・あぶね～・勇者Aったら、キレル時早い
からなあ・・）

シギト ほお、それがプルか・

プル プルププ（誰・？）のおっさん・

シギト いい面構えしてるな。

勇者A そりゃ、俺の魔物だからな。

シギト なあ、どつか広場ないか？

勇者A 裏庭の向こうにあるよ。

シギト そつち行かないか？

勇者A なんで？

シギト ここじゃ狭いしな

勇者A そうだな、狭苦しいわな、臭いし

勇者A いこつか

シギト プルも連れて行こう。

勇者A プル？

シギト そうだ。

勇者A 最近散歩もさせないし・

勇者A 運動させるか。

勇者A プルも来いや！

プル プルプル(へへい！)

三人は広場に着いた。

外灯が3つあり、広場を所々照らしている。

シガタ
たかと・・

シギト

ジギト 言いにくいんだが・・

勇者A
ん・?
?

シキエ 勇者A：・・落おなしか・・お前の命もひいこ

歐陽文忠公集

「川」アラフ（なんだ・イギカリ】のおいせん!）

卷之三

シキエ 雷鳥集

シギトは剣を抜くと、勇者Aとナルに剣の切先を向けた。

シテム・マネジメント

僕者A ええ！？

第20話 勇者A編 強襲シギト！

シギト いぐぞ……！

勇者A 何の真似だよ・・・

勇者A おいおい、剣持つてないぞ俺！

シギト 死ね！

勇者A おいおい！待てつたら！

シギトの攻撃！

勇者Aはかろづじて避けた。

勇者A く・・・

勇者A はえ～・・なんていう踏み込みの速さだ・・

勇者A 本気だな・・・

シギト 今を良くな避けたな・

シギト だが、剣が無ければ、勝負は見えてるぞ！

勇者A (なんか知らないが・・本気でやらないとやられぬ・・)

勇者A 剣さえあれば・・

プル プルププ（待て！）

プル プルププ（俺が相手だ！）

プルは勇者の前に割り込んだ。

勇者A プル・

プル プルププ（勇者A、俺に任せときな！）

勇者A ・・・

勇者A 頼む、俺は剣を取つてくれる！

勇者A それまで持ちこたえてくれ・

プル プルププ（任せとけ！）

シギト ・・・ 次はお前が相手か・・

プル プルププ（なめんなよ！）

プルは高速ではね始めた！

プルの攻撃！
特殊技 体当たり！

シギトはかわした。

シギト ・・・ 早いな・・

シギト しかし、俺には当たらない。

プル プルプフ（くつ・・あれを外されるなんて・）

プルは高速で跳ね回つてかく乱する。

シギト む・・

シギト ふふ・・卑いが・・それだけだ！

シギトの攻撃！

特殊技 無双流抜刀術！

衝円殺！

地面に剣を突き立てると、衝撃が
シギトを中心に円状に広がる！

プル プルプフ（うわあ・・・）

衝撃が空中のプルを捉える！

プルに20のダメージ！

プルは上空に弾き飛ばされた。

プル プルプフ（くつ・なんの！）

プルは体を蛸のよう広げるとふわっと地面に着地した。

シギト ・・・やるな・・

・・・
プル プルプフ（強い・・技のキレだけなら勇者へを上回つて）

プル プルプル (どうする・・)

プル プルプル (このままではやられると)

シギト ふ・・・

シギト 確かに、お前の力見せてもらつた・・

シギトはそう言つと、空中に剣を放り投げ
回転しながら落ちてくる剣を鞘に入れた。
「カチーン」

プル プルプ (なんだ・・?)

プル プルプ (もう終りか・・?)

シギト 済まなかつたな・・

シギト お前に本氣を出させるため・

シギト わざと勇者△を攻撃したんだ・

プル プル (なに? ?)

シギト お前は立派な戦力だ・

シギト 胸を張つて良いぞ

プル プルプ (なんか良く分からんが・・褒められてるのか・・

(?)

シギト ハハハハ！

プル プル（笑つてやがる・・・変な奴・・・）

勇者A プル～！今いくわ～！この剣で！

プル プル（勇者A・！）

シギト おひ、勇者Aおかいり！

勇者A ん・・・？

シギトは一部始終を勇者Aに話した。

勇者A なんだつて・・・俺達を試したつて・？

シギト うむ

シギト お前たちの絆見せてもらつた。

シギト ああでもしないと・・

シギト プルに本氣を出せやう！とせ、出来なやうだったんでな

勇者A それにしぃや～殺氣籠つてたな・・

シギト いや～、つい、昔思い出しきまつてな・・

シギト すまなかつた・

勇者A

勇者A . . . 相変わらずだなおめーは・・・

勇者A 行き当たりばつたりなとこも・・・

勇者A バカ強いとこもな・・・

シギト それはお互い様だ

勇者A ふ・

勇者A ハハハハ

勇者A は〜疲れた・・緊張とけたら眠くなつてきた。

シギト 寝るか・・

シギト 明日の魔物狩楽しみにしてるぜ

勇者A おうよ

ブル ブルブル(なんか良く分からぬが・・寝よ・・・ファ〜・・・)
)

第21話 勇者A編 自己紹介！

夜が明けた。

勇者A う・・まぶしい・・

勇者A もう朝か・・

勇者A (えういや・・今日は朝からシギトと魔物狩いくんだった
な・・)

勇者A もう起きないと・・

勇者Aは一階の台所に向かつた。

リン おはよう、勇者A

勇者A おはよう

勇者A ねむい・・

勇者A シギトは?

リン もう大分前に起きて、魔物たち呼んで来るつて

リン 外に出て行つたよ。

勇者A ほお・・

勇者A 気合入つてゐるな・・

リン はい、ベーコンサンデ。

勇者A ありがと、リン

勇者A 顔洗つてくるわ

勇者Aは洗面所に向かつた。

勇者A バシヤ、つめてえ・・

勇者A ん・?

勇者Aは洗面所の窓をみた。

黒い馬車がこちらに向かつてきている。

勇者A 黒い馬車・ああ・あれシギトか・

勇者A 魔物たち、連れてきたんだな。

勇者A 急がなきやな・・

勇者Aは台所に戻つた。

勇者A シギト帰つて來たぞ、ムシャムシャ・

リン そつなんだ。

勇者A 食つた食つた

勇者A さてと・・

勇者Aはパジャマを脱ぐと、防具を装備し、肩から剣を携えた。

勇者A ちょっとシギトに挨拶しに中庭行って来るわ。
リン はい

勇者Aは家を出た。

シギトは馬車を止めて馬車の整備をしてくる。

勇者A おはよひ、シギト

シギト おひ、おはよ

勇者A はええな・準備が

シギト まあな、昨日魔物たちの乗つた馬車、ホテルに置き去りにしてて

シギト 一応側近の魔物に携帯で連絡いれておいたものの

シギト 早めに顔見せておきたかったからな・・

勇者A ふむふむ、大所帯は大変だな・

シギト そうでもないさ

シギト 僕にとっちゃ奴等は家族も同然

シギト 奴等のためなら何でもできる。

勇者A すういなー・

シギト さてと・・

シギトは馬車を整備し終えると立ち上がった。

シギト 勇者A、お前に俺の仲間紹介するよ。

シギト プルも連れてこいや。

シギト これから、戦いを共にする仲間だからな。

勇者A わかつた。

勇者Aは馬小屋へ行つた。

ガラ・・
キイ・・

プル プ・・ン(ムニヤムニヤ・・ン)

勇者A まだ寝てやがる・・

勇者A 一体一日何時間寝るつもりだ、こいつは・・

勇者A おう、起きろー・

プル プルププ? (もう朝・?)

勇者A 朝だ、今からシギトの「魔物たち」とい」対面だ。

勇者A お前もこい！

プル プルプル・・（へへい・・）

二人は馬小屋をでた。

勇者A 待たせたな、シギト

シギト じゃ魔物たちを紹介しよう。

シギト お前たち出ておいで。

黒い馬車の後方扉から魔物たちがぞろぞろ出てくる。
魔物たちはシギトの横に並んだ。

シギト お前たち挨拶しなさい。

？？ じゃ、私から・・

？？ 私はシギト様の側近を務めるシャーダーナイトのソリアドレジも
います。

黒い鎧に覆われた強そうな魔物である。

？？ ソリア～早く私も紹介してよ～

ソリア そう急かすな・

ソリア こいつは・・

？？ 私はピクシーのシルディー！よろしくね！キヤハハハ！

ソリア む・・俺が言う前に・・

髪は栗色で長髪、金色の目、白いブラウスに、短いスカート
外見は普通の人間のかわいい女の子のようだ。

勇者A ん？この子、魔物？

シルディー そうよ！魔物にみえない？

勇者A うん、見えない。

勇者A だつて、ピクシーなら羽があるはず・

シルディー 良く気づいたわね！えらいえらい！

勇者A （タメ口かよ・・・・・女の魔物は苦手だ・・・）

シルディー 今は魔法を使って羽は隠しているの！

シルディー よろしくね！かっこいいおにーさん！

勇者A ええ・・俺が？

シルディー うんうん！キヤハハハ！

勇者A ・・・

ソリア シルディ、その辺にしておけ・・・

?? 俺はダークベアの熊五郎だ。

熊五郎 勇者Aとやら存分に戦おうやー

ごつい体をした筋肉隆々の熊系魔物、性格は体育会系のよいつだ。

勇者A おつーー（ここにつけやすやつだ・・・）

ソリア 最後に・・あれ・?

シギト ん・?そいえばゾルがいないな・・

?? ・・・いるよ

ソリア の影から何かが浮かび上がっていく。

ソリア お前・・そんなどいろに・・

ゾル ・・・

ゾル ・・・魔道使いのゾルだ

勇者A （危ない空気が漂つてるな・・）

黒いローブに銀色の飾りを首から提げていて、左腰に剣を携えている。

髪の毛の間から角一つが後ろに弧を描くようにな生えてる。
鋭い眼光をした魔物だ。

シギト よし、こちらの紹介はこんなもんだ

シギト 勇者Aも自己紹介してくれ

勇者A ええ・・・

勇者A (なんか)つい奴等ばつか仲間にしているな・・・

勇者A (それに比べて・・・)

勇者Aは自分達の紹介を省いて欲しそうだ。

勇者A ええっと、俺はシギトの旧友勇者Aだ!

勇者A まーよろしくな・・・

ソリア よろしく

シルディ ヘー、シギトの友達なんだーよろしく!

熊五郎 よろしく、勇者A!

ゾル ょろしく

勇者A でー、こつちが・プル

勇者A 俺の仲間のゲロイム、プルだ!

勇者A あれ・・・・・

プルの姿がない。

勇者A あれ・・・ど・いきやがつた！

勇者Aは庭に生えている木の方に手をやつた。
木の隙間から触覚が見えている。

勇者A ・・・・・

勇者A こら・・

プルは見つかつた。

プル プルププ（だつて怖いんだもん・・）

勇者A 僕に恥をかかすなと言つてんだろ・

勇者A こい！

勇者Aはプルの触覚をもつと、シギトたちのところまで引きずつた。

勇者A ほら、挨拶しろ・

プル（なんか・・この人たち・・す・いんですけど・・）

プル（う・・初対面の印象が大事だ・・ケッパレ・俺！）

プル プルププ（俺が・・・プルだ！よろしくな・・・フフ・・・）

シルディ あら、この子、人間語しゃべれないんだ。

シルディ うちは全員しゃべれるのにね。

シギト 僕が教育したからな・

シルディ そうだっけ～！

シルディ うん・・・

シルディはプルをマジマジ見つめている。

シルディ んー、ちょっと臭いけど、結構かわいい目してるね！

シルディ よろしくね！プル！

プル !?

プル プルプ（よろしく・・・）

プル （・・俺がかわいい？・・初めて言われた・・・）

プルは感動していた。

プル プルププ・・（かわいい・・俺が・・かわいい俺・・フフフ・・・）

プルは自分の世界に入っている。

熊五郎 プルよろしくな！

ソリア よろしく。

プル プ・? プルプル（あ・よろしくー）

ゾル
・
・
・
・
よろ

シギト さてと、一通りの自己紹介終わつたな。

勇者A じゃあいくか！トール遺跡へ！

第22話 勇者A編 魔界の存在！

トール遺跡に着いた。

シギト ここいらで、狩るか

勇者A うん。

シギト 今日の戦闘員は誰にするかな・

シギト よし、俺、ソリア、ゾルで行こう。

シギト 他の奴は馬車で見学だ。

熊五郎 分かった。

シルディ そんなん・・・

シルディ せっかく私の強いところ、見せよつと思つたのに・・・

シギト お前が強いのは俺が分かっているさ。

シルディ うう・・仕方ないわね

シルディ 頑張ってねみんな！

勇者Aはその様子を羨ましそうに見ていた。

勇者A いいな・・・どいつも強そうな奴ばかりで・・・

勇者A しかも、余つてゐときたもんだ・・

シギト お前も魔物の仲間増やせばいいだろ。

勇者A そつなんだけど・・

勇者A 僕のところは、嫁さんと一人で暮らしてゐからな

勇者A あんまり連れてくると、嫌がられそうだな。

勇者A ハサ代もバカにならないし。

シギト 所帶もちの弱みだな。

勇者A ははは・

シギト 今日は稼いで帰ろつや

勇者A よし、やるか

トールABCが現れた。

シギト へりえ！

シギトの攻撃！

トールAに90のダメージ
トールAは倒れた。

ソリア ・・・ふん！

ソリアの攻撃！

トールBに50のダメージ

トールCの攻撃！

ゾルは避けた。

ゾル 暗黒の精靈達を・・我に力を貸し与えたまえ・・

ゾルの攻撃！

特殊業 ダークストーム！

暗黒の衝撃が敵を襲う。

トールBに100のダメージ

トールCに98のダメージ

敵は全滅した。

経験値1200ポイント、1000キル、トールの木刀を手に入れ
た。

シギト 弱いな・・

ソリア ・・・

ゾル ・・・ 話にならん

トールGが現れた。

トールGの攻撃

勇者は50のダメージを受けた。

勇者Aの攻撃

トールに30のダメージ

プルの攻撃

特殊業 体当たり

トールGに40のダメージ！

トールGの攻撃！

勇者に50のダメージ！

勇者は瀕死だ！

プルの攻撃

特殊技 体当たり！

トールGに40のダメージ

トールGは倒れた。

経験値400ポイント、350キル、トールの木刀を手に入れた。

勇者A うう・死ぬ・助けて・

シルディ あらら・ヒーリング！

勇者Aは全快まで回復した。

勇者A ハアハア・

プル プルプル（うう・じじつええ・俺達には荷が重い・）

勇者A きついな・それに比べてシギトたちのあの余裕さ・

シギト ううん・

シギト お前たち、武器も防具も

シギト もうちょっと、良いの買つたほうがいいな。

勇者A そういえば・・ずっと同じ武器と防具使つてるな・・

シギト 確か馬車に・・

シギト あつた・・

シギト 僕のお古だけど、これやるよ。

シギトはバスターードソードと高級防具一式を勇者に与えた。

勇者Aは攻撃力、防御力共に一気に上がった。

ブルは防御力が上がった。

勇者A おお・・すげえ・・ありがとシギトー・

夕方まで狩りは続いた。

勇者A よつしゃー！

トールXVは倒れた。

ブル ブルプフ (やまみるー・)

シギト お見事！

勇者A この剣すごいな、それに防御もあがつたせいか・

勇者A 全くダメージもらわなくなつたよ。

フル プル（俺も俺も…）

勇者A たんまり稼いだ。暗くなつてきたし、そろそろ帰らんないか？

シギト そうだな・・

勇者達はトール遺跡を後にした。
馬車を平行させながら走らせていく。

勇者A 今日はありがとな、シギト

シギト 礼なぢこりないよ

シギト お前の強さ見せてもらつた。

シギト かなり腕をあげたな。

勇者A ・・お前に言われたくないな・・ははは・・

勇者A 勇者高校のときは、ほぼ互角だつたのに・・

勇者A かなり差が開いたよな・・

シギト ・・・

シギト それはやつと・・

シギト お前・・魔物つてどこから来たと想つ?

勇者A え・・?

シギト 魔物は元々、この世界には存在しない奴等なんだよ

勇者A そうなのか・?

シギト うむ

シギト ここの世のどこかに、次元の歪があつてな。

シギト その歪から魔物たちはいつからやつてきたやつだ。

勇者A ほお・

勇者A じゃあ、魔物たちは本来どこにいる奴等なんだ?

シギト 魔界・・・・・

勇者A ?

シギト 魔王と呼ばれる者が支配する闇に覆われた世界。

勇者A へへ・フルに聞いたら知つてるかな?

シギト 知らないだろ・歪は5000年前に閉じたらしい。

シギト 今いるこの世界の魔物はほとんど、その頃やつてきた奴等の子孫だ。

勇者A へへへ

シギト まあ・・・俺もよくは知らないんだがな・

勇者A そつだつたのか・・・

勇者A 魔物がねへへ

勇者A へへへ

勇者A ん・・・?

勇者A あれ・・・?

勇者A 村の方角に煙が・・・

シギト !?

シギト あれは・・・

シギト 急げ!つ!

勇者A 一体なにが・

勇者A (リン)・・・

第23話 勇者A編 炎！

勇者A達はキル村に着いた。

勇者A 一体・・なにが・・リン・・

シギト む・・お前のうちの方だ！

勇者A え・・・

勇者A (リン～～！)

プル プルプル (リンさん～！)

勇者A たちは家に着いた。
家が燃えている。

勇者A これは・・・！？

リン 勇者A・・

リンは泣いている。

勇者A な・・なにがあつたんだ？リン

リン ・・・

リン 私が帰つてきたら、燃えてたの・・

勇者A なんだつて・・・

シギト 魔物の仕業か・・・？

消防士A どいたどいたー！

消防士A 今から火消すから

消防士A みんなあぶないから下がつて！

警察官A ほらほらさがつて！

勇者A ここ俺のうちなんです！

警察官A そうか・・取り合えず鎮火するまで

警察官A まつててや

村人A うお～燃えている・・火事だ！

村人B すげ～・・カシャカシャ

村人C ウィーン

隣人A どうしたんですか？リンさん。

リン それが・・帰つてきたらこんなことに・・・

隣人A あら・・・なにが原因なんでしょうか・・・

野次馬A B C D なんだ・・なんだ・・・ザワ・・・ザワ・

勇者Aの家は人だかりができる。

警察A みんな下がつて！下がつて！

消防士B オーライオーライ！

消防士A 家がくずれるぞ・・・

ガラガラ～～ドシャン！～

警察A b123地点火事です、過失火のよつです、ビウゼ！

勇者A ・・・・・

リン ・・・・・

シギト ・・・・・

1時間後――――

家は鎮火した。

家のあつた場所は荒野になつてゐる。

警察A ええ・・現場検証の結果、コンセントの接続部分にホコリ
が接触し

発火して家に燃え移つた火事のようですね。

警察A ちゃんと掃除しないとダメだよ

リン ええ・・・

警察 A 過失による火事として処理しますね。

警察 A じゃあ後ほど・・・

シイーーーーーーーーーーーー

警察や野次馬達が帰ると辺りに静けさが戻る。

隣人 A リンさん・・気しつかりもつによ・・

リン ・・・・・はい・・・・

勇者 A は真白になつてゐる。

シギト ・・・ 勇者 A ・・・ ・・・ 気落とすなよ・・

シギト ・・・ 取り合えず・・俺ホテルに戻るよ・・

シギト なんか困つた事あつたらいつでも、ここに連絡くれ・・

シギトは勇者 A に携帯の番号の書いた紙を渡した。

シギト ・・・ じゃあまた・・・

シギトはホテルに帰つていつた。

フル プルプププ・・・（俺の家が・・・俺の馬小屋が・・・）

リン ウハーンー全部私のせいなんです、『めんなさい

リン 『めんなさい』・・・ウハーン・・・

勇者A ・・・

勇者A ・・・

勇者A なんなの・・・

nu e

T o B e C o n t i

第24話 勇者A編 仕事！

10日後

勇者Aは荒野になつた土地を一束二文で売り払つと6畳一間のアパートを借りた。

リン 朝ごはんよ・・

勇者A おつ・

リン はい、ベーコントースト。

勇者A ありがと・・

勇者A ムシャムシャ・・

リン ポリポリ出していくるね。

勇者A うん・

リンは「//」出しに行つた。

勇者A (は〜・・なんかあの火事以来・・)

勇者A (全てが真白に・・)

勇者A (全部消えた・・)

勇者A ・・・・・・

勇者A (貯金も残り少ないし・・・)

勇者A (魔物狩でわざわざいためてるが・・・)

勇者A (家賃に済えるだらうし・・・)

勇者Aは窓を開けると、外に止めている馬車を見た。

勇者A (苦しいなあ・・・フルのエサ代も稼がないと・・・)

勇者A (あいつの馬小屋ないから・・・馬車に住んでもらつてるのは
ど・・・)

勇者A (この生活も限界あるな・・・)

リン ただいま・・・

勇者A おかえり・

リンは畳の上に静かに座り、果物ナイフを手にもつと、
テーブルの上でリンゴの皮をむき始めた。

リン シャシャシャ・・・

リン はい、リンゴ。

勇者A ありがと!

勇者A うん、うまい！

リン うふふ・

リン ・・・

リン 勇者A・・・こんな事になつて・・・

勇者A !?

勇者A もういいつて・・・謝らなくて良い・・

勇者A 焼けたものはしゃーないよ・・

リン ごめんね・・うう

リンは泣いている。

勇者A 泣くなよ・・

リン だつて・・うう

勇者A ・・・

勇者A (リンに・・いつまでも、こんな生活をせとおくわけには行かない・・)

勇者A (俺は・・夫であり、大黒柱なんだ・・)

勇者A (・・仕事探さないとなあ・・)

勇者A

勇者A !

勇者A (あ・・・そだ・・)

勇者A (二)の間のシギトの仕事!まだいけるか聞いてみよう・・)

勇者A ちょっとトイレ行つてくる。

勇者Aはトイレのなかに入ると、シギトの携帯にかけはじめた。

勇者A ×××9 つと

勇者A

プルル～プルル～カチャ・・

シギト もしもし

勇者A おお、シギト、俺だよ、勇者Aだよ

シギト 勇者Aか

シギト どうだ、落ち着いたか?

勇者A まあ・・落ち着いたつていや、落ち着いたが・・

勇者A 今、土地売り払つて、キル村でアパート借りてリンと住ん

でるよ。

シギト ふむ

勇者A あのわあ・・・

シギト なんだ?

勇者A 『Jの前の仕事の話なんだけど・・・

シギト ああ・・・

シギト あの仕事はもう済んだよ。

勇者A そつか・・・

シギト お前呼んでもよかつたんだが・・・

シギト 立て込んでそつだつたんだな・・・

シギト 僕達でなんとか始末した。

シギト 済まなかつたな・・・

勇者A いや・・・いいんだよ・・・

勇者A 『Jめんな・・・忙しいのに・・・

勇者A じゃあ・・・・・・切るな・・・

シギト 待て・

勇者A ん?

シギト 実はな・・俺あの仕事で大儲けしただろ?

勇者A そつだらうな・・100000000キルの仕事だもんな・・

勇者A 一気に金持ちだな・・

シギト うん・ま、話聞いてくれ・

勇者A うん。

シギト で・・俺はここの金を使って今度、オルカ村で事務所開くことになった。

シギト 今まで傭兵でやつてた仕事を、ついで引き受けるんだ。

勇者A すげえなあ・・

勇者A (なんて夢のある話だ・・)

勇者Aは嫉妬している。

シギト でな、こつからが大事なんだが

シギト 俺は魔物しか仲間いないんでな・・

シギト 仕事拡大するにあたつて、人手が必要なんだよ。

シギト 依頼して来た顧客と現場で落ち合つとき

シギト 魔物たちだけを向かわせるわけにはいかないんだ。

シギト だからと云つて、いちいち全部俺が行つてたんじゃ大変だからな

シギト 人間のパートナーが欲しいんだ。

勇者A ほおほお

シギト でさ、俺もビニの馬の骨とも分からぬ奴を雇いたくないんだよ。

シギト それに・・この仕事は・・

シギト 魔物を統率できる力、即ち、信頼、協調性・・経験、腕、ハート

シギト そして何より、魔物たちの中リーダーシップを取れる者でなければ務まらない。

シギト それがお前にはあると思うんだ。

勇者A え・・・

シギト 慣れないいうちは、大変だろうが・・

シギト 仕事を引き受けたうちは分かつてくると思う。

シギト どうだ・お前、俺の事務所で働いてみないか?

勇者A ええ・・・・!?

シギト お前今大変だろ?・・・リンさんだつて・・

勇者A まあ・・・

シギト 引き受けてくれないか・・?

勇者A (・・・・・)・・・これは・・・・またとないチャンス・・・

勇者A (棚から牡丹餅・・引き受けないわけがない・・・)

勇者A (これしか・俺達一家が生きる道はない!)

勇者A シギト・・いや、シギト社長! 働かせてください!

シギト そつか! 引き受けてくれるか!

シギト 嬉しいぞ!

シギト お前ならやれる!

シギト ハハハハ!

勇者A ははは・

シギト じゃあ、明後日PM2時、事務所オープンを祝つてパーテ

イ開くんだ。

シギト その時に落ち合おう。

シギト うちは時間厳守だから、そのへんは頼むぞ。

勇者A わかった・いや、分かりました！社長！

シギト じゃ後ほどな

ガチャ・・ツーツー

勇者A ウウツシャアアアアアアアアアアアアアア！

勇者A なんか希望みえてきたぞ！！

勇者A 早速リンに知らせないと！

第25話 勇者A編 希望！

勇者A リン！

リン ・・・なに？

勇者A 僕なあ・シギトの事務所で働く事になつた！

リン ええ！

リン シギトさん、事務所開いたの？

勇者A そつなんだよ

勇者A IJの間の仕事終わらせと、100000000キル手にはいつたらしくつて

勇者A その金で事務所開いたらしい。

勇者A で、僕を雇いたいって言つてくれたんだ。

リン ！！

リン いい話じゃない！

リン どんな仕事？

勇者A シギトの傭兵稼業を事務所で引き受けんんだよ。

勇者A 僕の仕事は事務所の魔物たちの統率役つてどこかな。

リン なるほど

リン 勇者Aならぴつたりね！

勇者A そつか？

勇者A で、明後日シギトの事務所オープンのパーティに出向いて
くるよ

勇者A そのとき正式に雇つてもうれる予定さ

リン そつか

リン 勇者Aならきっとやれるよ！

勇者A ・・・

勇者A 俺は・やるよ！

勇者A リンのために・・・

リン ・・・

リン 勇者A ・・・

勇者A リン！ガバッ！

リン 勇者Aつたら昼間つから・・ん

夫婦の嘗み中です。自肅します。

その頃

プル プルププ（暑いよ～・・・）

プル プルププ（馬車のなかで、野晒し生活～0田田継続中・・・）

プル プルププ（太陽の日差しがきついぜ・・・）

プル プル（夜は野犬どもに怯え・・・）

プル プル（昼は灼熱の太陽の日差しが・・・）

プル プル（馬車の中をサウナ状態にする・・・）

プル プル（飯も牛から鶏に変わった・・・）

プル プル（飯も牛から鶏に変わった・・・）

プル プル（家が焼けて・・・リンさんも勇者Aも大変なんだ・・・）

プル プル（俺だけ弱音吐くわけにはいかねえ・・・）

嘗み終了

勇者A さてと・・・

勇者A 僕プルにこの事言つてくるよ。

リン そうね・・

リン プルちゃんもかなり・我慢の生活続けるから

リン 勇者Aに仕事が見つかって分かったら

リン 喜ぶわ

勇者A そうだな・・

勇者A 僕がシギトの事務所でいっぱい働いて

勇者A 沢山稼げば、また新しいマイホームも夢じゃない！

勇者A アイツにも立派な馬小屋・・いや・・ペットルームも作ってやれるかもしれない。

リン 頑張つて、勇者A！

勇者A 任せとけ！

勇者A じゃプルんとこ行つてくるわ。

勇者Aはアパートを出て、馬車のある場所へやつてきた。

勇者A ぷるちゃんやーい・

プル プルプル（お・勇者A久しぶりー）

勇者A やつれたな・・

プルは一回り小さくなつてゐる。

プル プル（大丈夫さ・・・）

勇者A すまないなあ・・・」」しがお前置いとけるといなぐつてよ・

プル プル（気にすんな！）

勇者A まあ・・・そんなお前に朗報だ

勇者A 僕に仕事が見つかつた！

プル プル（なんだつて・・・！）

勇者A オルカ村のシギトの事務所で働くことになつたんだよ

プル プル（おお・・・すげー・・・）

勇者A これでまとまつた金がはいつてくれるはずや

勇者A そしたら、おめーにつましい物も食べさせられるし

勇者A バンバン稼いだら、新築の家買つて

勇者A このアパート暮らしどもむせりばだ・

プル プル（すいじー・勇者A！）

勇者A . . .

勇者A そうだ！

勇者A 明後日、俺はシギトの事務所に行くんだが

勇者A おめーもいじよ！

勇者A パーティやるから、何かいいもん食わしてもらえるかもよ？

プル プルプル（行く行く！）

プルはピヨンと跳ねた。

勇者A 行きたそうだな

勇者A じゃあ、明後日楽しみにしといてくれ

勇者A んじゃ俺はアパートに戻るわ。

プル プル（またな！）

プル

プル プルプル（風が . . . 変わってきたぜ . . . ）

プルは馬車から身を乗り出すと、夏の太陽をまぶしそうに眺めた。

第26話 勇者A編 波乱の幕開け！

シギトの事務所パーティの当番

勇者A なあ、リン

リン なに着ていけば良い？

勇者A やっぱパーティだし、タクシードとかかな？

リン うーん、困ったね。

リン 火事で全部焼けちゃったし、時間もお金もないしね。

勇者A うーん・

リン まあ、その辺はシギトさんも分かってくれるでしょう。

リン この間火事でやけたばっかりなんだし

勇者A そつか、ならいつもの格好でいいか。

リン ちょっとまって・

リン これ・

リン 私が急いで作ったマントな

リン これつけていけば、少しはましに見えるかも・

勇者A おお、かつじーーー田原マント、裏地の濃いグレーもいいな

勇者A ありがとな・・・リン！

リン どういたしまして

リン ああ、勇者Aもう出なこと間に合わないわよ。

勇者A ほんとだ・・急がなきや・・

勇者A じゃちよつと畠井にするたゞ

勇者A 夜には帰つてくれるから

勇者A それまで、待つてくれ。

リン うん。頑張つてね、勇者A！

勇者A まかせとけつて！

リン ちゅ〜

勇者A ふ・・

勇者A じゃ行つてくる。

リン いつひらつしゃーー！

勇者Aはアパートを出た。

勇者A プル)

プル プルプル(へい!)

勇者A おお、久しぶりにちやんと起きてるじゃないか

プル プルプル(なに黙ってるんですかい、今日は初陣の日じゃねーですか)

プル プルプル(気合入れてくれよ! 勇者A! -)

勇者A なんだかお前気合入ってるな。

勇者A 僕も気合入れなきやな・・

勇者A よっしゃー! オルカ村へ向かって出発だ!

プル プル(おう! -)

勇者Aは馬車を走らすと、キル村を後にした。

勇者A じつち方面は初めてなんだよな・・

勇者A 道分かるかな・

馬車は草原を走り抜けていく。

勇者A 綺麗なところだな。

勇者A 遠くに何かみえる・

プル プルプル（あれば村だ！）

グリ熊A B C Dが現れた。

勇者A なに、後ちょっとつて時に・・

プル プルプル（グリ熊つて・・昔かなり苦戦した奴じゃ・・？）

勇者A 俺達はあの時とは違う！

プル プルプル（うん！）

勇者A いくぞ！

勇者Aの攻撃

特殊技 カマイタチ

グリ熊Aに50のダメージ！

グリ熊Bに48のダメージ！

グリ熊Cに52のダメージ！

グリ熊Dに49のダメージ！

プルの攻撃

特殊技 火炎放射！

グリ熊Aは倒れた。

グリ熊Bは倒れた。

グリ熊Cは倒れた。

グリ熊Dは倒れた。

敵は全滅した。 3000ポイントの経験値、3000キル、熊の手をまきあげた。

勇者A よつしゃ！ — 網打アタマタチ！

プル プルプアタマタチ（ふふふ・・余裕でつせ）

？？ ほお・・中々やるな・・・

勇者A ん？誰だ？

？？ だが・・そんな程度じゃ・・まだまだ話にならんな・・

プル プルプアタマタチ（だ・誰だ・・？）

岩の陰から浮かび上がるよアツマツ、何者かが現れた。

ゾル 久しぶりだな・・・・・

勇者A お前は・・・確かに・・シギトの魔物の一人・・

ゾル ・・・・・ゾルだ。

勇者A ゾル、どうしたんだ？こんなところに

ゾル ・・・・・シギトの奴が

ゾル お前を案内してこいつていうんでな・・・・・

ゾル ・・・・・いい迷惑だぜ・・・・・

勇者A

プル プルププ（なんだこいつ・・・？）

ゾル 僕は・・・

ゾル お前なんか歓迎してないぜ・・・

勇者A なんだと・・・

ゾル . . . 村へ来る途中・・・

ゾル . . . 魔物に襲われて・・・

ゾル . . . 死ぬってことはよくある話だ・・・

ゾル 事故で済む・・・

勇者A なにが言いたいんだ・・ゾル！

プル プルププ（やるひりてのか！）

ゾル まあ・・・ そう熱くなるなよ・・・

ゾル 例えさ・・・

ゾル 取り合えず・・・ シギトに頼まれてるからな・・・

ゾル 案内してやる・・・

ゾル ． ． ． ． 付いて来い ． ．

ゾルは背中で折りたたんでいた、漆黒の翼を伸ばすと
村の方へ羽ばたいていった。

勇者A ． ． ． ． いくぞ・

プル プルププ（へい！）

勇者A ． ． ． ．

勇者A （思つてたより・大変な仕事になりそうだな・・）

第27話 勇者A編 有限会社「冥府魔堂」！

勇者Aは魔物ゾルを追っている。

勇者A ちょっと・・早すぎるとアッシュ・・

プル プルプル（案内になつてね～）

勇者A もう、あんなに遠くに・・

馬車は猛スピードを保ちながら、村の入り口を駆け抜けた。

村子供A ボールよこせよ！

村子供B ほらよ・・

村子供A わ・・わわ・・

勇者A うわ～・・子供！止まらねえ・・

プル プル～（ひ～）

その刹那、馬車の前方に黒い陰が突然現れる。

？？ ふん！

何かバリアのようなものが馬車の勢いを吸収する。

馬車が止まつた。

村子供 A ひゞし・助かつた・

村子供Aはおもらじしている。

勇者A ふえり 危ない危ない・・

フル フルフル（危なかつた・）

？
？
勇者ア歟
村ではモレ少しお速してモレねないと
・・

勇者 A

お迎えは上だに、おもした

ソニア ソニアで、じゃあこまか。

勇者A そうそう、ソリア！

勇者Aは名前は覚えるのは苦手だ。

勇者A ソリアー、あんたんとこのソルがよ

勇者A 付いて来いっていふんだけど

勇者A すぐを速めて飛んで行くからさ。

勇者A スピードついでに出来しきちまつたんだよ・・

ソリア く・・ゾルの奴・・

ソリア すみません、勇者A・・

ソリア あいつはちょっと・・つけの中じゅアレな奴でして・・

勇者A うん、確かにアレな奴だな。

フル プルプル（アレってなんだ・・）

村子供B がやつてきた。

村子供B おい、おっちゃん！

村子供B あぶねーじゅん！

勇者A ああ・・すまね・・・面白ない・・

フル プルプル（「めんよ、チルドレン・）

村子供B 村子供Aが危うく死ぬとこだつたじゅねーか！

勇者Aはポケットに手を入れた。

勇者A いの飴玉やるから・・許してくれ・・

村子供B そんなんいらねーよ・・出すものだしな・・

勇者A ええ・・・

プル プルププ（こら、ガキ！調子にのんな）

ソリア ・・・

ソリア 濟まなかつたな子供達よ・・・

村子供 B ！？

村子供 B あ・・ソリア様・・

村子供 B ソリア様、こいつら知り合いなんですか・・・？

ソリア そうだ・・大事な客人だ。

村子供 B ・・・

村子供 B ・・・

村子供 B 今日は勘弁してやるよ！じゃ・・ソリア様またね！

ソリア うむ、またな、気をつけて帰れ。

村子供 B はーい！

村子供達は去つていった。

勇者A うう・・助かつた・

プル プルププ（ふー・）

ソリア ま・・まあ・・取り合えず事務所まで案内しましょ。

勇者A たのんます。

勇者A達は事務所に着いた。

ソリア ここが有限会社 「冥府魔堂」 の事務所でござります。

事務所は一階建てで、入口に曇り硝子を使用した開閉式のドア
玄関の外側の部分は広く、おしゃれなタイルが地面に隙間なく並んで
いる。

入り口の両脇には大理石の太い柱が、建物から突きでた屋根を支え
ている。

建物に使われている石材は高級そうである。

勇者A すげえ・・なんて立派な事務所なんだ・・

ソリア すごいでしょ・

ソリア 前ここに店を構えてた主人が引っ越したんで

ソリア シギト様が即金で買い取つたんですよ。

ブル ブルブル(こ・・俺入つて良いのかな・・)

ソリア ええつと・・

ソリア ブル君、君は魔物ルームが裏にあるので

ソリア パーティの間はそこで待つてくれるかな。

ソリア 魔物は私とシルディ以外は参加できないんだよ。

フル プルププ（やつぱりね・・）

ソリア 勇者Aさん、パーティは地下1階のゲストルームで開かれます。

ソリア もう準備はできています。

ソリア まあ行きましょう。

こひらへ誰かがやつてくる。

熊五郎 お、勇者Aどの来ましたか

勇者A お、熊五郎！久しぶり！

勇者Aは気の合ひそうな熊五郎の事は覚えていた。

熊五郎 俺はあんた来てくれて嬉しいよ！

勇者A おお・・ありがと！

また、誰かやつてきた。

シルディ わわ・本当にきたー！

シルディ シギトが言つてた事は本当だつたのね。

シルディ 嬉しい！

シルディ 最近退屈だったのよね～！

シルディ 勇者A、有限会社、冥府魔堂へようこそ～。

シルディ 歓迎するわ！

勇者A ははは・・シルディよろしくな

シルディ あら、プルもきたのね！

プルプル プルプル（うん、飯田当てで・・）

プルプル プルプル（でも・・）

プルはしじめている。

シルディ ははーん！パーティに参加できなくてくちね！

シルディはプルに顔を近づけた。

シルディ 大丈夫・・私が目を盗んで、食べ物運んできてあげるから・・ボソボソ

プル プルプル（シルディ・・・ありがと！）

熊五郎 じゃあプル、お前は俺と来てくれ。

ソリア じゃ勇者A、パーティ会場へ行きましょう。

勇者A へい！

第28話 勇者A編 パーティ！

勇者Aとソリアはパーティ会場のあるゲストルームへやつて来た。

ソリア 勇者A、少しここで御待ちください。

パーティ会場は大きめの丸テーブルが3つ設置されている。

テーブルには淡い青の布が敷いてあり、

その上にグラスや、ワイン、食器類

ローストチキン、サラダ etc が所狭しと置かれている。

窓には金縁の赤いカーテン、天井には金色のシャンデリアが見える。

既に、その場にはシギトの知人が来てい、盛り上りを見せている。

ソリアはシギトに近付き、耳元に顔を近づける。

シギト ハハハ！

シギト ん？

ソリア 勇者A様がお出でになられました。

シギト おお・・・

シギト 分かった・・・すぐ行く。

シギト みなさん、ちょっと私は、知人を向かえに行つてきますね。

シギトは軽く会釈をすると、その場を抜け出した。

入口付近に待たされている、勇者Aのもとへやつてきた。

シギト 勇者A、良く来たな！

勇者A おおシギト！

勇者A なんかえらい盛り上がってるな・

シギト 俺の知人や親類、従業員が集まってるからな。

シギト 内輪のパーティなんだ。

勇者A そうなのか

シギト じつち来てくれないか？

シギト お前を紹介したい。

勇者A ええ・・・なんか緊張するな・・

勇者A 俺じつと、あんまり行ったことなくてや・

シギト これも経験だ。

シギト これから、じつじつ機会は何度もある。

シギト 慣れて欲しい。

勇者A 分かった・・

シギトは勇者Aを連れて知人達の元へやつて來た。

シギト みなさん、いらっしゃがさつき話した、私の高校時代の友人であります！

シギト この事務所で私のパートナーとして活躍してもらひ勇者Aです！

勇者A は・・はじめまして・私が・が・勇者Aでござります。ハイ。

勇者Aはパニーハットでいる。

？？ あら・勇者Aちゃん、お久しぶり！

？？ 覚えてるかな？シギトの母のパニーハット

勇者A ん・・？ああ・・パニーハット！

勇者A お久しぶりです！

パニーハット お久しぶりね

パニーハット なんか・昔より良い男になつたわね！

羽帽子に目がチカチカするドレスを着た派手なおばちゃん。

勇者A え・・ええ、そうですか？

パニーハット なんていうか・・顔立ちが丸くなつて、落ち着いた感じが

するわ。

ペニヤ 昔、シギヤといひに遊びに来てたときは

ペニヤ なんか・・田が怖くつて、おまわり心配したのよ

勇者A ははは・・・

ペニヤ 今どうなの・・?

勇者A 今、キル村で嫁さんと一緒に暮らしています。

ペニヤ へ・・・結婚したの・・・いいわね・・

ペニヤ ついのシギヤも早く戻る・・

シギヤ か・・幽さん・話が長いよ・

ペニヤ だつて・・

シギヤ まだ紹介が終わってないんだから・・おえてください。

ペニヤ まあ・・・」のやうたら・・・(誤)

シギヤ わ・・わと・・

シギヤ わん、はじめまして

シギヤ シギヤの幼馴染のフイーネと申します。

フイーネ よろしくね。

肩まで伸びた金色の髪に大きな瞳、明るい栗色のドレスを着ている女の子

首からは金色の輪が連なったような首飾りをさげている。

勇者A よろしくです！（美人だなあ・・・）

シギト 勇者A、フイーネはついで事務や電話受付もしてもらひます
定だ。

勇者A へ～そつなんだ

フイーネ どんどん仕事つけるから、頑張つてね！

勇者A はい、任せてください！

シギト 勇者A、いわば俺の剣術の師匠であらわされるローヤン
先生だ。

ローヤン はじめまして・・・

茶色ローブに、禿かけた薄い髪、目には眼帯
頬にはカタナ傷のようなものがついている。
怖そうなおつちやん。

勇者A は・・はじめまして・シギトの友人の勇者Aであります！

ローヤン ・・・中々いい顔をしてある。

「一ヤン　お前は強くなる　頑張りたまえ　・・・

勇者A　はい・・・（初対面でお前よばわいつかよ・・・）

？？　はじめまして、勇者A！俺、サラットだ！

サラット　シギトとは同業で、商売敵だ！

金色の髪の先が上にカールしていて、細い顔たちにあいの先端には
ちょび髭がみえる。

頭にはなぜか王冠を載せている。赤いマント、長袖の白っぽい服に、
長いズボンを着ており、蛇皮のベルトをしている。

シギト　いりいり・・

サラット　はははーまあそれは本当なんだが、友人でもある。

サラット　まー頑張つてくれや

サラット　なんならうち来ても良いぞ

勇者A　ええ・・

シギト　おいおい・・

サラット　まあ気楽にやんな！

勇者A　はい！（変な格好・・しかも軽い奴だな・・・）

その後も血口紹介は続いた。

自己紹介が終ると勇者Aはテーブルに座った。

勇者A (はあはあ・・・疲れた・・・たまんねーよ・・・)

勇者A (俺こりに苦手だ・・・気疲れしちまった・・・)

勇者A (ビニに勤めるつて大変だよな・・・)

勇者A (取り合えず飯食お、飯!)

勇者A ムシャムシャ・・・(うめえ・・・)

勇者A (こんな食事久しぶりだ・・・)

勇者Aは感動している。

ツンツン・

誰かが勇者Aの肩を人差し指で突付いた。

シルディ 勇者A、ご苦労様!

勇者A むぐ・・お・シルディ・

勇者A お・・人間バージョンか・

シルディは魔法で羽を隠している。

シルディ うん!

シルディ 大変でしょ・・・シギトの交友関係は広いからね。

勇者A まあな・・・んぐ・・

シルディ ちょっと私・・

シルディ プルにっこりの料理、運んでくるね。

勇者A ムシャムシャ・・お・・わりいな・・

勇者A あいつ、最近ろくなもん食つてねえから喜ぶよ！

シルディ あらら・・かわいそつに・・

シルディ うちに来たからには、そういうことは無いわよ

シルディ 仕事終わつたら、良いもの食べさせて貰えるからね

勇者A え・・

シルディ プルもここで働くんでしょ・?

勇者A ん・・それはまだシギトと話してないからな

勇者A どうなんだろ・・

シルディ シギト、プルのことかなり気に入つてたよ！

シルディ 「あいつは良いハートをもつてている・・・」ってね

勇者A ほおほお・

勇者A ま、それも聞いてみるよ。

シルディ うん-じゃ、フルに届けてくれるね

T o B e C o n t i

nu e

第29話 勇者A編 恋！

プル プルププ（ふ）・・腹減った・・

プル プルププ（今さら、勇者A良いもん食つてんだろうな・）

プル プルププ（しかし、ここ殺風景な部屋だ）

プル プルププ（コンクリートの青い壁、青い床にテーブルと椅子
しかないよ・）

誰か部屋に入ってきた。

熊五郎 プル、いたか

プル プルププ（熊五郎、ウス！）

熊五郎 済まないな・こっち引っ越してきたばかりで

熊五郎 シギトのパーティーの準備にかかりっきりで

熊五郎 俺たちの事はそっちのけだつたからな・

熊五郎 この部屋も魔物たちの待合室になる予定だけど

熊五郎 まだ何にも置いてないんだよな

熊五郎 飯取り合えず用意しよっか・・？

プル プルププ（あ・・シルディさんか・・）

プル プルププ（なんか持つてきてくれるつて言つてたよ？）

熊五郎 ああ・・シルディの奴・パーティ行つてゐるのか

熊五郎 でも、もう腹減つてゐるだろ？

プル プルププ（減つてます・・）

熊五郎 取り合えずこれやるよ。

熊五郎は肩に下げるバッグからチヨコレートを取り出した。

プル プルププ（チヨコレート・・俺そんの・・）

熊五郎 まあ食つてみなよ。

プル プルププ（背に腹は変えられねえ・・）

プルはチヨコを大きな舌で熊五郎の手から掬い取るとペロッと口にいれた。

プル プルププ（甘え・・）

熊五郎 まあシルディの奴くるまでそれで、少しば持つだろ。

プル プルププ（へい・何とかもたせます・・）

熊五郎 じゃ俺、ちよつと用事あるんでな

熊五郎 まあ、ゆつくりしどきな。

熊五郎は魔物ルームから出て行った。

プル プルププ（しゅ）・・

プル プルププ（期待してきたから、余計腹減る）

プル プルププ（シルディまだかな）

コンコン・

誰かが部屋をノックした。

ガターン

シルディ プル お待たせ！

プル プルププ（シルディ～！）

シルディ うふふ

シルディ ご馳走もつてきたわよ！

シルディが魔法を唱えると

何もない空間から突然大きな木箱が現れた。

シルディ はい、これ！

プル プルププ（なんだかシルディつてすごいな・）

プル プルププ（それより飯だ・）

シルディ 開けるね。

シルディ ほら！

木箱の中にはローストチキン、何かの肉、その他色々な食べ物が
てんこ盛りだった。

プル プルププ（おお、すげえ・・）

プル プルププ（もう食べちゃうよおれ・我慢の限界）

プル ガバッ！ゲロゲロコクン～！

プル プルプウ（食つた食つた・・・）

シルディ ・・・

シルディ 豪快ね♪

シルディ でもなんかかわいい！

プル ！？

プル プルププ（かわいい・・？俺が？）

シルディ うんうん！いいよその食べっぷり！

シルディ 私豪快な子好きだよ！

ブル ブルププ（なんだろ・・・）のもやもやした気持ちは・・・

シルディ この部屋殺風景だよね・・・

シルディ 壁紙はつて・・・ペンキ塗つて・・・

シルディ あの隅に大きな冷蔵庫おこつかな・

ブル (こ)の子・・俺みたいな奴にも普通に話しかけてくれるし・・・

ブル (明るいし・・優しいし・・俺なんか・・・)

ブルは体の中の心臓のような物が、ドキドキしているのを感じた。

第30話 勇者A編 パーティ終り！

勇者A (疲れてきた・・・おつかれ帰りたい。)

シギト さへと、既にもう夜も遅いので

シギト 今日のパーティはこの辺で終つとさせて頂きます。

パミヤ シギトちゃん、頑張ってね

シギト うん、頑張るよ、母さん

サラット じゃ、俺は失礼するよ。

サラット ま、つまへごくごくこな

シギト つむ、お互いにな

サラット ふ・・じやあな

コーヤン じゃ・達者でな・・・

シギト はい、お師匠様

シギト お気をつけてー！

ソリア 頃様お疲れ様です、出口まへりやうです。

ソリア お気をつけてお帰りくださいませ。

パーティに集まつた人々はみんな帰つていつた。

フイーネ セーと、明日から仕事かー！

フイーネ 気合いれないとね。

シギト うん、頼むぞ、フイーネ

フイーネ 任せて！

勇者A シギト。

シギト ん? なんだ? 勇者A

勇者A あのせ、ブルも仕事手伝わせてもいいかな?

シギト 無論だ、ただ、給料はお前と一緒にでいいか?

シギト そうだな、人間並みに払うといつ事はできないが

シギト 少しは上乗せするぞ。

勇者A そうか、ありがと。

シギト ジヤ、ええと・＼＼の契約書にサインしてくれ。

勇者A OK!

勇者Aは項目を埋めるとハンコを押した。

勇者A よしできた。

シギト うむ

シギト よし、今日からお前は俺達の一員だ。

シギト 頑張ってくれよ。

シギト 明日からバリバリ働いてもうつからな

勇者A うん、俺、頑張るよ！

シギト 期待してるぞ

勇者A 任せとけ！

勇者A プル吉向かいに行かないとな。

シルディ ここにいるわよ。

プル プルップ（勇者A、お疲れ、帰ろつぜー）

勇者A お・プル、飯食えたか？

プル プルップ（うん、うまかったー！）

シルディ この子すげいね～、一瞬でペロッと食べちゃったよ

勇者A シルディありがとな！

シルティ　いえいえ～好きでやつてるから～！

勇者A　あ、そうそう、プル

プル　プルプル（なに？）

勇者A　お前も明日から俺と一緒に働くことになつたから

プル　プルプル（え・・？まじ・？）

シルティ　やつた！

プル　プルプル（よかつた！勇者だけじゃ心配だつたし）

プル　プルプル（それに・・ウフフフ）

シルティ　プル、明日からよろしくね～！

プル　プルプル（おう、よろしく～！）

勇者A　じゃシギト、俺帰るわ。

シギト　うむ、じゃ、明日な

勇者A　うん、おやすみ！

シルティ　おやすみ～また明日～！

熊五郎　またな～！

勇者Aはシギト達に手を振ると馬車を走らせた。

勇者A さあおうちかえろー！

プル プルプル（ファーザー眠い・・・）

？？ 生かして返すか・・・

？？ 町を出たな。

？？ 終りだ・・・

？？ バーニングフレ・・・

？？ ?

？？ ファイアボール！

？？ グアア・・・

？？ 何者・・・？

？？ ゾル、いい加減にしろ！

ゾル ソ・・・ソリアか・・・

ソリア お前が勇者Aの馬車の後をつけていくから

ソリア おかしいと思つたら・・・

ソリア 何のつもりだ？

ゾル フン・・・

ソリア 理由は分からないうが・・

ソリア 勇者Aに仇なすものは容赦せん・

ゾル ほお・・・・・

ゾル 容赦しない・・・・・?

ゾル だつたらどうするんだ？

ソリア 僕がお前を始末する。

ゾル 僕をか・・・・・?

ゾル ハハハハ・・・調子に乗るな・・・・

ゾル お前・・・なんであんな奴に肩入れする・・?

ソリア 勇者Aはシギト様の大事なパートナーだ・

ソリア その勇者Aを襲うという事は、シギト様に『をひくのも同然。

ソリア 見過すわけにはいかない。

ゾル お前とは・・・戦った事なかつたな・・・？

ゾル 痛い目・・・見せてやるよ・・・

ソリア ふん、思い上がりやがって・・・

ソリア 少し教育の必要があるようだな・・・

nue

T o B e C o n t i

第31話 勇者A編 ゾルvsソリア！

ゾル 僕を・・・なめるなよ・・・

ゾル お前のような・・・

ゾル 元は人間の成り上がり魔物とは格が違うんだよ・・・

ソリア ・・・ほお、それを知ってるのか

ソリア まあ、そんな事はどうでも良い

ソリア かかってこいよ・?

ゾル ・・・死ね

ゾルの攻撃

特殊技 暗黒剣

ゾルは手に闇の力を収束し

暗黒の剣を生成した。

ゾル この剣の威力半端じゃないぞ・・・

ゾル くらえ・・・

ゾルの攻撃

ソリアに50のダメージ

ゾル む・・・ 暗黒剣の威力が・・・

ゾル 奴の体に届く前に・・・ 半減している・・・

ソリア ふ・俺のこの鎧には、目に見えないオーラが張られている。

ソリア 全ての攻撃は俺の体に届く前に威力は半減する。

ソリア さて・・次は俺が攻撃してみようか?

ソリア このバルダー・アクスの威力見せてやろう。

ソリアの攻撃

ゾルに当たらない。

ゾル ふん・・いくらその斧が威力があるとしても・・

ゾル 当たらなければ意味がないぞ・・・

ゾル そんな遅い振り・・・眠つても避けれると・・

ゾル 威力が半減するなら、数を増やすだけだ。

ゾルの攻撃

煉獄刃波！

暗黒剣から黒い衝撃の刃が連續して放たれる！

ソリア む・・・

ソリア 時空結界！

ソリアの半径5M四方にドーム状のバリアのようなものができる。

ソリアには攻撃が届かない。

ゾル なんだと・・・

ソリア お遊びはここまでだ！

ソリアの攻撃

特殊技 旋風縛！

斧の激しい回転により

周りの空気が爆風を伴って斧に吸い寄せられる。

ゾル く・・・動けん・・・吸い寄せられる・・

ソリア とどめだ・・

？？ やめろ

ソリア む・？

ソリア シギト様！！

ソリアは斧の回転を止めシギトを見た。

シギト ふー・・参つたな・・

ゾル ハアハア・・

シギト ゾルの様子がおかしいと・・

シギト ソリアから携帯で連絡をつけて、来てみれば・・

シギト お前たち・・なんでこいつなつた？

ソリア ゾルが・・勇者Aに攻撃をしかけようとしてました・・

シギト なに・・！？

ゾル ・・・

ゾル 奴は生かしておけない・・・

シギト なんだと・・！

ゾル ・・・・

シギトは自分の怒りを静めるように息をふーっとついた。

シギト ゾルよ、お前は俺に忠誠を誓つたはずだ。

ゾル ・・・

シギト お前は俺との戦いで敗れた時

シギト 自ら懇願して俺の下についたはずだ。

ゾル ・・・

シギト その俺のパートナーとなる勇者Aに

シギト なぜそこまで敵意を向ける?

ゾル 奴は・・・

ゾル 何れあんたを・・・脅かす存在になる・・・

ゾル そうなる前に・・・邪魔な芽は摘み取つておきたかった・・・

シギト !?

シギト どうこう意味だ・・・

シギト あいつは俺の友人だぞ

ゾル ふん・・・何れ分かるよ・・・

シギト なんだと・・・

ゾル まあ・・・・・

ゾル もう・・・いい・・

ゾル 奴にはもう手を出さねーよ・・・

ゾルはそう言いつと、漆黒の翼を広げ夜の闇に消えていった。

シギト ・・・・・

シギト どうこうことだ・・・

ソリア あ・・・

その頃

勇者A プル、キル村どっちだつけ・?

プル プルププ・・(勇者A・・俺ねむいから・・頑張れ・・ZZ)

勇者Aは道に迷っていた。

勇者A編 番外編 リンの休日ー

勇者Aがパーティで出かけている頃

リン 勇者A、今頃どうしてるかな・

リン 洗濯も掃除も終わつたし

リン お買い物は昨日済ましたし・・

リン THはるくなのやつていないし

リン 暇すぎるわ・・

リンは「THARA THARA」と歌っている。

リン 外出でもしようかしら・

部屋内にTHARAの曲が流れる。

THARAとは・・

キル村のあるピリカ大陸で今最も人気のある女性歌手である。

リンはTHARAの曲が好きなので、携帯の着信音にしていた。

リン ん・・?誰だろ。

リン あら・・マナミだわ。

リン もじもじ~

マナミ リン、おはよ~!

マナミは同じキル村に住む友人である。

リン おはよ。

マナミ どう?少しは落ち着いた・?

リン うん、まあね

リン あ、そうそう、聞いて!

リン うちの旦那様に仕事みつかったの!

マナミ うわ、すごい。

マナミ あんたの旦那って確か、魔物の狩猟ハンターだったわよね

リン え・・ええ。

リン そういう職業かもしれない・

リンは勇者Aの仕事が良く分からぬ。

リン そんなことはないの!

リン それより、今度オルカ村の会社で勇者Aが働く事になったの！

マナミ おお、よかつたじゃん！

マナミ 会社勤めたら、安定してお金入ってくるねー。

リン うんーたぶんこれからお金もちになるわー！

リンは誇大妄想が入っている。

マナミ あ、そりそり

マナミ 今からビニ行かない？

リン ビニ行く？

マナミ ピリカ海水浴場行かない？

マナミ 海だよー！

リン いいね～暑いしね

マナミ よし決まり！

リン どうやって行く？

マナミ キル村の南に「キル村観光」っていう会社があつてね。

マナミ そこから護衛つきの民間馬車が出てるのー！

マナミ 斧道500キルよ、安いでしょ！

リン 安い！

マナミ ジャ、1時半にあんたんち行くわ。

リン あ、ちよっと待つて！

マナミ どうしたの？

リン 水着がないわ・この間の火事で焼けてしまったの・

マナミ 平氣よ、その観光会社に水着も売つてたから。

マナミ そこで買つて行こう。

リン OK！

マナミ じゃ切るね。

リン はい

ガチャ・ツーツー

リン はあ、海つて何年ぶりだろ。

リン 勇者Aは山派だから、海には連れて行ってくれないのよね。

リン ちょっと楽しみだな

30分後

ピンポーン

リン マナミだわ

マナミ リン行くわよ

リン はい

リンはインターホンを切ると、外へ出た。

マナミ さあ行くわよ。

リン 行こう！

二人はキル村観光にやつてきた。

社員A この水着はいかがですか？

社員A 今流行りのアニマル色のピンクのボーダー水着ですよ。

リン これいい！

マナミ うんうん、似合います。

マナミ サイズ合ってる？

マナミ 試着してみたら？

リン うん

社員A 試着室はいひがります。

マナミ どうへ? リン

リン いいかんじよ

リン 私これにする!

社員A お買い上げ有難いござります。

社員A レジはいひで

社員A お気をつけて

リンたすは店を後にした。

マナミ 切符も買つたし、馬車に乗りや。

馬車運転手A さあ行きますよ。

馬車の中には客用の長椅子が置いてあり
運転手の横には、屈強な黒足ぐめのガードマンが座っている。

リン たまにはいね、いひうのも

マナミ いこや

マナミ リンもたまには外出しないこと、腐りちゃうからね

リン あはは。

馬車は海水浴場についた。

マナミ セーと、着替えて海行こひー。

リン うん！

マナミ リン、最近お腹出できてない・？

リン ビクッ・・

リンのコメカミに汗が滴り落ちる。

リン そ・・そんな事無いわよ・・

リン (ま・・さか・・・・? 太った・?)

リン (最近、引っ越ししてから、色々あつて)

リン (てんやもんが多かつたからなあ・・)

リン (でも、体重は増えてなかつたはず・・)

リン (うーん・・)

リンはウエストが気になつてゐる。

マナ// まあでも、プロポーション良こまつだよな

マナ// 王のとこでてるし、アハハハ！

リン (マナ//) た、ひ・・結婚してから、あひかりおばさん化して。
・

リン (い) はなつたくになーわ・・気をつちみつ・・

マナ// まひひひひ

リン 待つひよー。

マナ// あひひひ空こてるわ。

マナ// シート敷いてパラソル挿しましょ

リン うん。

マナ// ゆー、〇△!

マナ// オイルぬる・こんがり焼くよ。

リン 私の膚中ぬつて。

マナ// いこよ。

マナ// 塗つてこよ。

リンたひは塗り終えると寝転んでーる。

マナミ 泳がない・・・?

リン うん

マナミ ああ、気持け良こね

リン 最高!

リンは泳ぎがつまー。

マナミ うわ・・すばらしい。

マナミ バタフライできるんだ

リン うふふ、昔水泳部入つてたから!

マナミ ヘーリンって運動神経抜群なんだね

ナンパA ね～ね～彼女たち、一緒に力キ氷でも食べない?

マナミ はあ～～?

ナンパA そんなつれなくしないでさ、行こうよー

ナンパAはリンの手を掴んだ。

リン !?

リン ちよつとやめてください・・・

ナンパB そっちの彼女も行こうよ。

マナミ しつこいな〜・・

マナミ どうかいってよ。

リン (ちょっと・・なにこの人たち・・強引だわ・・)

ナンパA B ほらこううってば

リン (だんだん、ムカムカしてきた・・)

リン (仕方ない・・)

ドカ!

リンは無言でナンパAのミゾオチに一発パンチを入れた。

ナンパA うげ・・・

ナンパB どうした、ナンパA・・

ナンパAは海に浮かんでいる。

ナンパB おい・・どうした・・

ナンパA 腹が・・・

ナンパB 腹でも壊したか・・?カキ氷食いすぎだよ・・

ナンパ B 戻るべ。

ナンパ B は A を引きずりながら去つていった。

マナミ はあ、いつとつじいの消えた。

マナミ でも、まだ声かけられるなんて

マナミ 私たちまだまだ若い証拠ね！

リン アハハ！

太陽が西に傾き始めた。

マナミ 帰り！

リン うん！

リン （今日はいい息抜きできたわ・・・）

リン 勇者Aはどうしてるかなー・

第32話 勇者A編 ゾル！

ゾルはどこかの岩場の頂上で佇んでいた。

ゾル
・・・・・

ゾル
(もう・・・シギトのもとには戻れない・・・)

ゾル
(理由はなんにせよ・・・)

ゾル
(俺は奴に背いた形になつたんだからな・・・)

ゾル
ふ・・・

ゾル
(また・・・一匹の魔物として・・・)

ゾル
(本能の赴くまま・・・暴れるだけのことだ・・・)

ゾル
ん・・・あれば・・・

物凄い勢いで馬車が走つてゐる。

ゾル
人間か・・・

ゾル
襲うか・・・?

ゾル
ん・?

兄A
しつかりしろ・・・!

兄A 村まではもう少しだ・・

妹A お兄ちゃん！魔物が追つてきてるよ・・

兄A く・・・逃げ切れない・・

兄A 戦うか・・

兄A お前は馬車に隠れてろ！

妹A うん・・

兄は馬車を止めた。

ヒヒーン！

オーガA 手間あ、かけさせやがって・・

オーガA ハアハア

オーガA 僕は腹へつてんだよ・・

オーガA 久しぶりの人間の肉だ

オーガ 逃がしてたまるか

兄A しつこい奴だ・

兄A は剣を抜いた。

オーガA 僕とやる気か・?

オーガA 殺して食うか

兄A くらえ!

兄Aの攻撃

オーガAは避けた。

オーガA ふん

オーガA 当たるかよ・

オーガの攻撃

兄Aは避けた。

オーガ く・・生意気な・

兄A ・・・

兄A これはどうだ・

兄Aの攻撃

特殊技 ライトニングソード!

オーガAに30のダメージ!

オーガA 痛え・

オーガA こいつ〜兄ちゃんになにするの〜

オーガA 調子にのりやがつて・・

オーガの攻撃
特殊技 怒涛のおたけび！

オーガは多きな声をあげた！

兄Aはその轟音に耳をやられた

兄Aはふらついている。

兄A ぐああ・・鼓膜が・・

ゾル (ふ・・・終りだな・・)

オーガA とどめだ〜

ドカ！

ゾル !?

オーガAは攻撃を止めた。

オーガA なんだ・・?

妹A こいつ〜兄ちゃんになにするの〜

妹はオーガAにフライパンを投げた。

妹A この～えい～えい～

バンバン！

妹Aはオーガの足をフライパンで叩いている。

オーガA 何だこのチビは？

兄A ば、馬鹿・・なんで出てきた・

妹A だつて・・こいつお兄ちゃん苛めるから・・

オーガA ふ、これお前の妹か？

オーガA うまそくな奴だ

オーガA こいつから食つてやるか

兄A やめてくれ～

兄A 妹Aには手を出さないでくれ

オーガA しるか

オーガA 生きたまま食つてやる！

ゾル ～・～・

兄A こいつ！

兄Aの攻撃！

オーガAは避けた。

オーガA 邪魔するな！

オーガAの攻撃

兄Aに20のダメージ！

兄Aは倒れた。

兄A ぐう・・糞が・・

オーガA お前は後でゆっくり食ってやるから

オーガA 黙つて見とけ！

オーガA サーてど、お前からだ！

妹A キヤ～～～！

兄A 無念・・！

オーガAは突然吹っ飛ぶと
岩に叩きつけられた。

兄A !?

オーガA グウウ・・なんだ・・一体・

ゾル ・・・・・

オーガA 誰だお前は

オーガA 俺を今蹴つたのはお前か？

ゾル · · · ·

オーガA なんのつもりだ？

ゾル · · · ·

オーガA こら、何とか言え！

ゾル ふ · · ·

ゾル お前の後ろ頭がちょっとむかついたんでな · ·

オーガA なんだと ·

ゾル そのハゲ頭見えてると、吐き気がするぜ · ·

オーガA てめえ・ケンカうつてんのか？

オーガA 魔物の癖して、人間の味方するつもりか？

ゾル 聞いてなかつたのか · · ?

ゾル お前の後ろ頭が · · むかつくと · · · 言わなかつたか · · ?

オーガA このやうで、調子くれてんじやねーぞ！

オーガA しねや～～！

オーガAの攻撃

ゾルには当たらない。

ゾル 消えろ・・

ゾルの攻撃

特殊技 閻の波動！

オーガは消しとんだ、

ゾル ふ・・・雑魚が・・・

ゾルは一人の方をゆっくり見た。

兄A ヒイイ・・

妹A キヤ～～！

ゾル ・・・・・

ゾルはその二人を見て何かを回想している。

ゾル ・・・・・

ゾル 行くか・・・・

ゾルは一言そう呟くと、その場を飛び去った。

兄A ふう～～助かつた・・

妹A お兄ちゃん！

・・・・・

ゾル（ふ・・・俺も・・まだ甘いな・・・）

ゾル（さて、どうするかな・・・）

ゾル（取り合えず、俺の故郷、サルサの森へ帰つてみるか・・・）

none

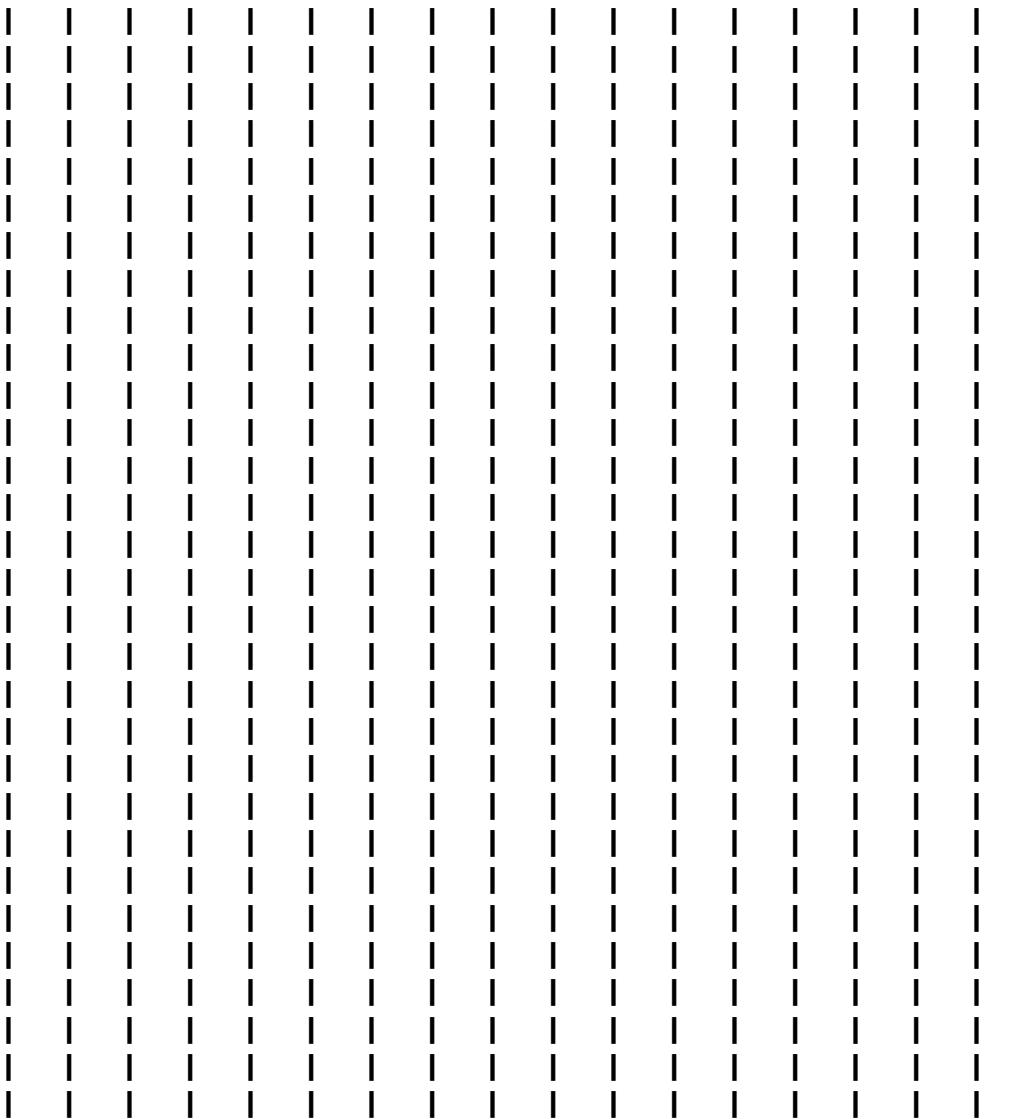
TO Be Conti

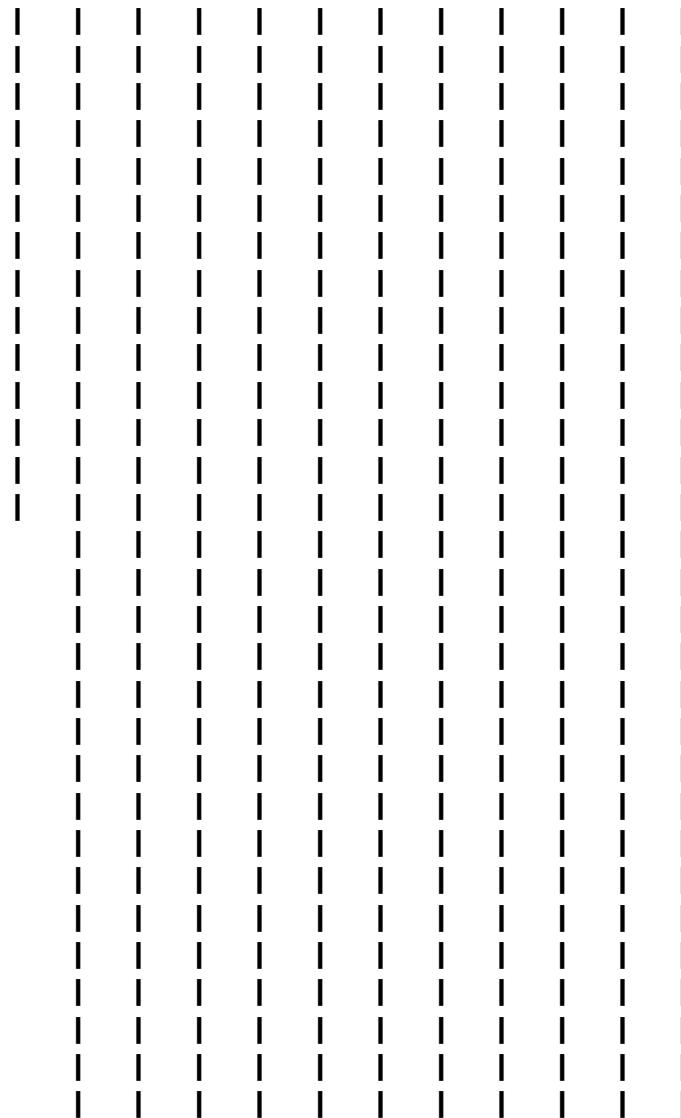
2は「」や一回終了となります。3にて続きます

拙いこの作品読んでいただき有難いございました。
3で続き書くかは未定です。の予定でしたが
自分が先気になり始めたので3書き始めます。

TO Be Continue

nue





PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5137e/>

悪者たちのぶつくさ2 色々編

2010年11月14日09時28分発行